

## 1. 構造名

両面せっこうボード・スラグせっこう板重張/軽量鉄骨下地間仕切壁

## 2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	91 以上

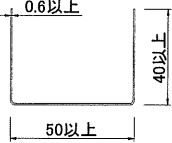
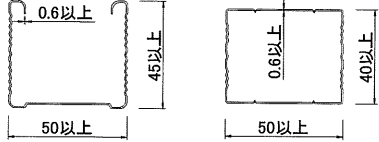
## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造								
①上張用面材	せっこうボード (NM-8619) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 6901</li> <li>・比 重 0.67<sub>-0.02</sub> 以上</li> <li>・厚 さ 12.5<sub>-0.5</sub> 以上</li> <li>・寸 法 最大：1,210×4,000 最小： 910×1,820</li> <li>・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) スクエア 2) テーパー 3) ベベル</li> <li>・張 方 縦張</li> </ul>								
②下張用面材	スラグせっこう板 (NM-8314) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 5430</li> <li>・密 度 1.0<sub>-0.1</sub> g/cm<sup>3</sup> 以上</li> <li>・厚 さ 8<sub>-0.4</sub> 以上</li> <li>・組成 (質量%)               <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">二水せっこう</td> <td style="padding-left: 10px;">30～50</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">スラグ</td> <td style="padding-left: 10px;">30～50</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質混和材 (パーライト等)</td> <td style="padding-left: 10px;">5～20</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">有機質繊維 (パルプ等)</td> <td style="padding-left: 10px;">5 以下</td> </tr> </table> </li> <li>・寸 法 最大：1,210×2,730 最小： 910×1,820</li> <li>・形 状 平板</li> <li>・張 方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 横張 (2) 縦張</li> </ul>	二水せっこう	30～50	スラグ	30～50	無機質混和材 (パーライト等)	5～20	有機質繊維 (パルプ等)	5 以下
二水せっこう	30～50								
スラグ	30～50								
無機質混和材 (パーライト等)	5～20								
有機質繊維 (パルプ等)	5 以下								

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
③ランナー	<ul style="list-style-type: none"><li>・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板</li><li>・規 格 JIS G 3302</li><li>・寸 法 □- 50×40×0.6 の断面寸法以上</li></ul> 
④スタッド	<ul style="list-style-type: none"><li>・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板</li><li>・規 格 JIS G 3302</li><li>・寸 法 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) □- 50×45×0.6 の断面寸法以上 (2) □- 50×40×0.6 の断面寸法以上</li><li>・間 隔 455 以下</li><li>・上部ランナーとの隙間 10±1</li><li>・工 法 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 共通間柱工法 (2) 千鳥工法 (3) ダブルスタッド工法</li></ul>  <p style="text-align: center;">□型                      □型</p>
⑤振れ止め	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし (□型スタッドの場合)</p> <p>(2) あり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板</li><li>・規 格 JIS G 3302</li><li>・寸 法 [- 19×10×0.9 の断面寸法以上</li><li>・間 隔 1200 以下</li></ul>
⑦スペーサー	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし (□型スタッドの場合)</p> <p>(2) あり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板</li><li>・規 格 JIS G 3302</li><li>・厚 さ 0.8 以上</li><li>・間 隔 600 以下</li></ul>

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①ランナー固定金物	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) コンクリート下地用</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) コンクリートくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸 法 <math>\phi 4.0</math> 以上<math>\times\phi 30</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>2) 発射打込みびょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 5529</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times\phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>(2) 鉄骨下地用</p> <p>1)～3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS B 1180</li> <li>・寸 法 M8 以上<math>\times\phi 25</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>2) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times\phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>3) 溶 接</p>
②留付け材	<p>[1] 上張用</p> <p>[1]-1 タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.5</math> 以上<math>\times\phi 32</math> 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul> <p>[1]-2 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3506</li> <li>・寸 法 幅 4 以上<math>\times</math>足長 19 以上</li> <li>・間 隔 200 以下</li> </ul> <p>[2] 下張用</p> <p>タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 2em;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times\phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul>

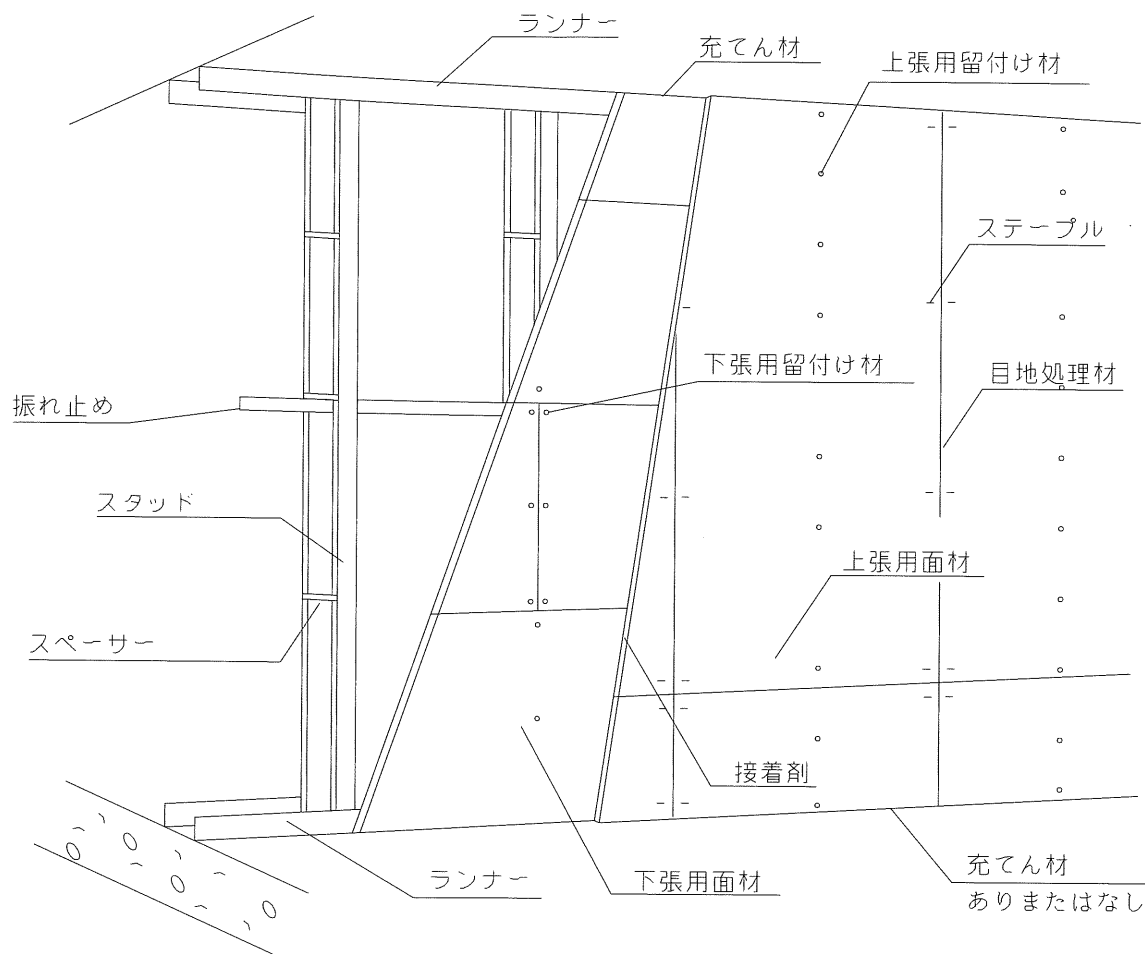
(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
③接着剤	無機質系接着剤（炭酸カルシウム系） ・塗布量 500g/m <sup>2</sup> 以上
④目地処理材	[1] せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・塗布量 130g/m以上 [2] グラスファイバーテープ ・厚 さ 0.2以上 ・幅 50以上
⑤充てん材	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様もしくは組合せとする (1) せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・使用量 230g/m以上 (2) ロックウール ・規 格 JIS A 6301、9504 ・密 度 32 kg/m <sup>3</sup> 以上 (3) ロックウール・ガラス繊維混紡フェルト ・密 度 150 kg/m <sup>3</sup> (4) シーリング材 ・材 質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) シリコーン系樹脂 2) ウレタン系樹脂 3) 変成シリコーン系樹脂 ・使用量 230g/m以下 (5) なし（下部の取合い部分に限る）

#### 4、構造説明図

(寸法単位:mm)

- (1) -1 断熱材を充てんしない場合 (C型スタッド)  
・透視図

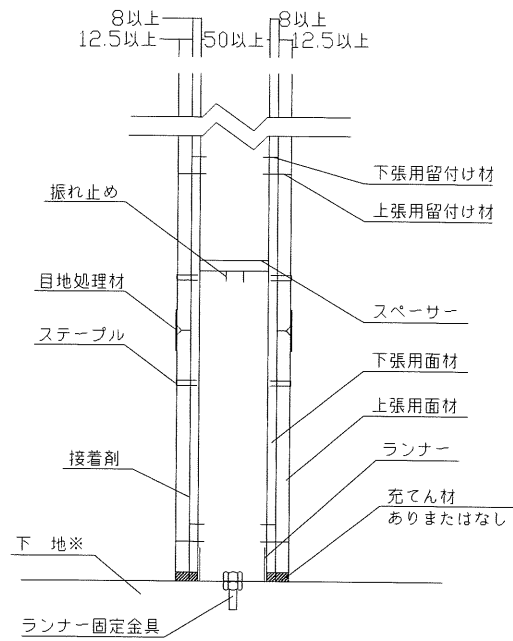
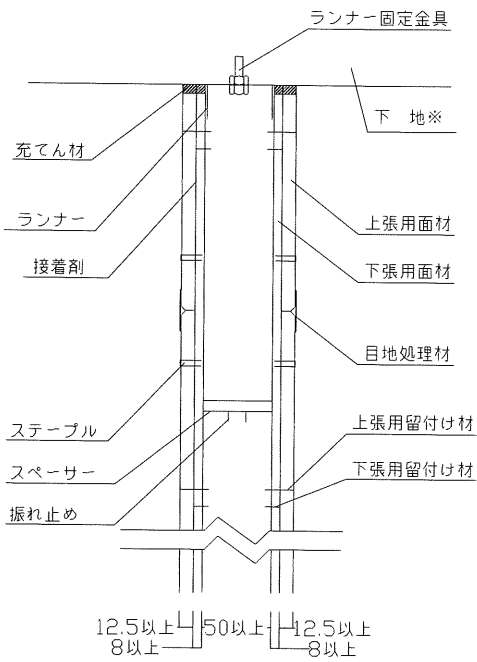


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

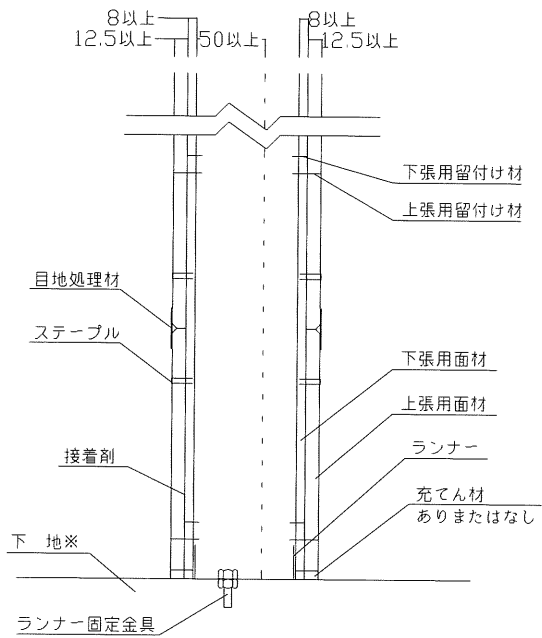
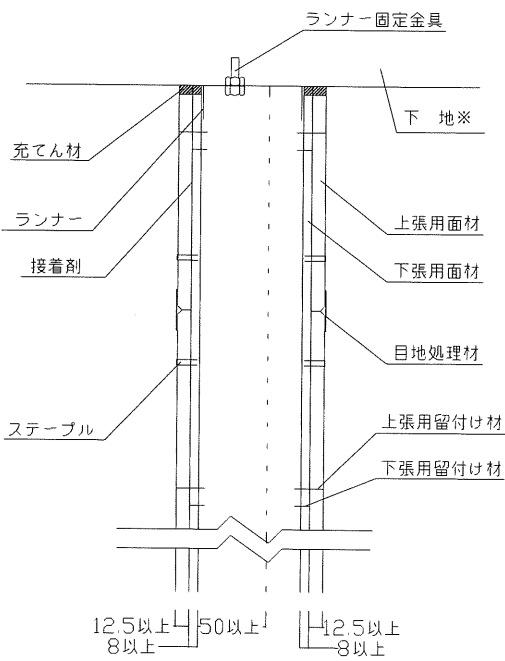
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

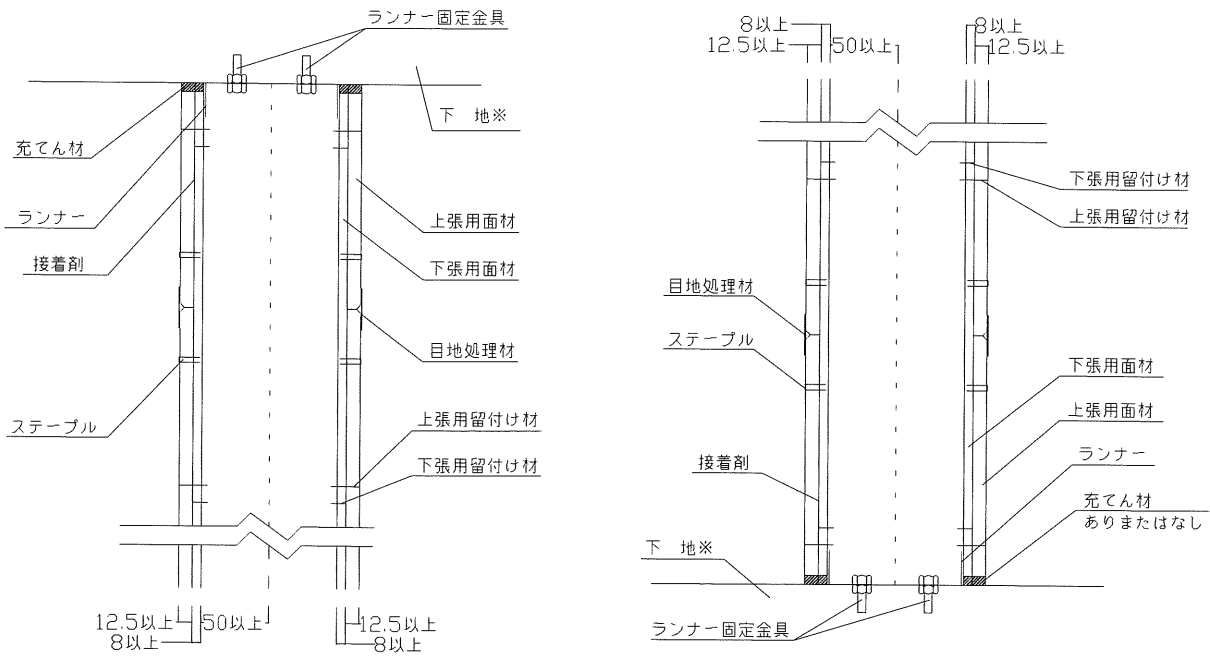


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

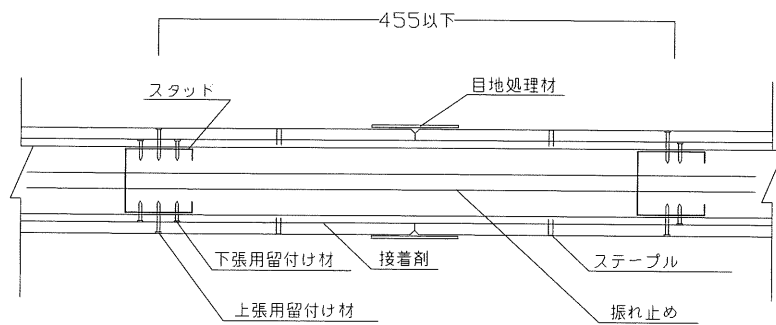
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

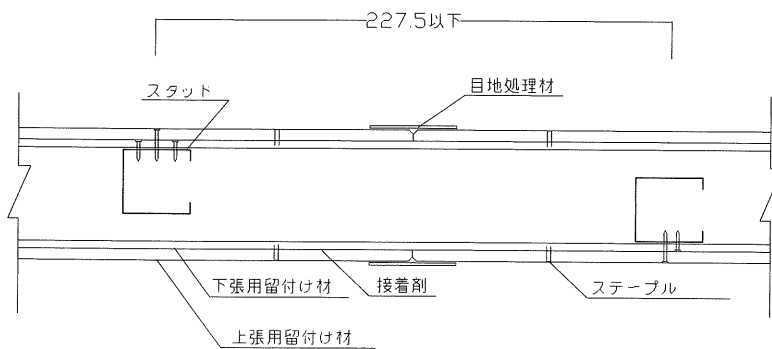
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

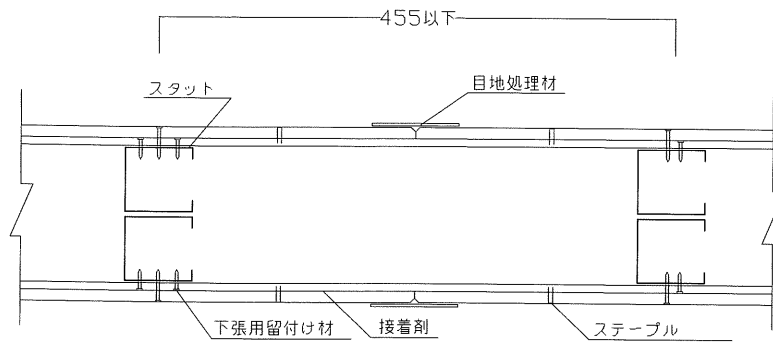


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



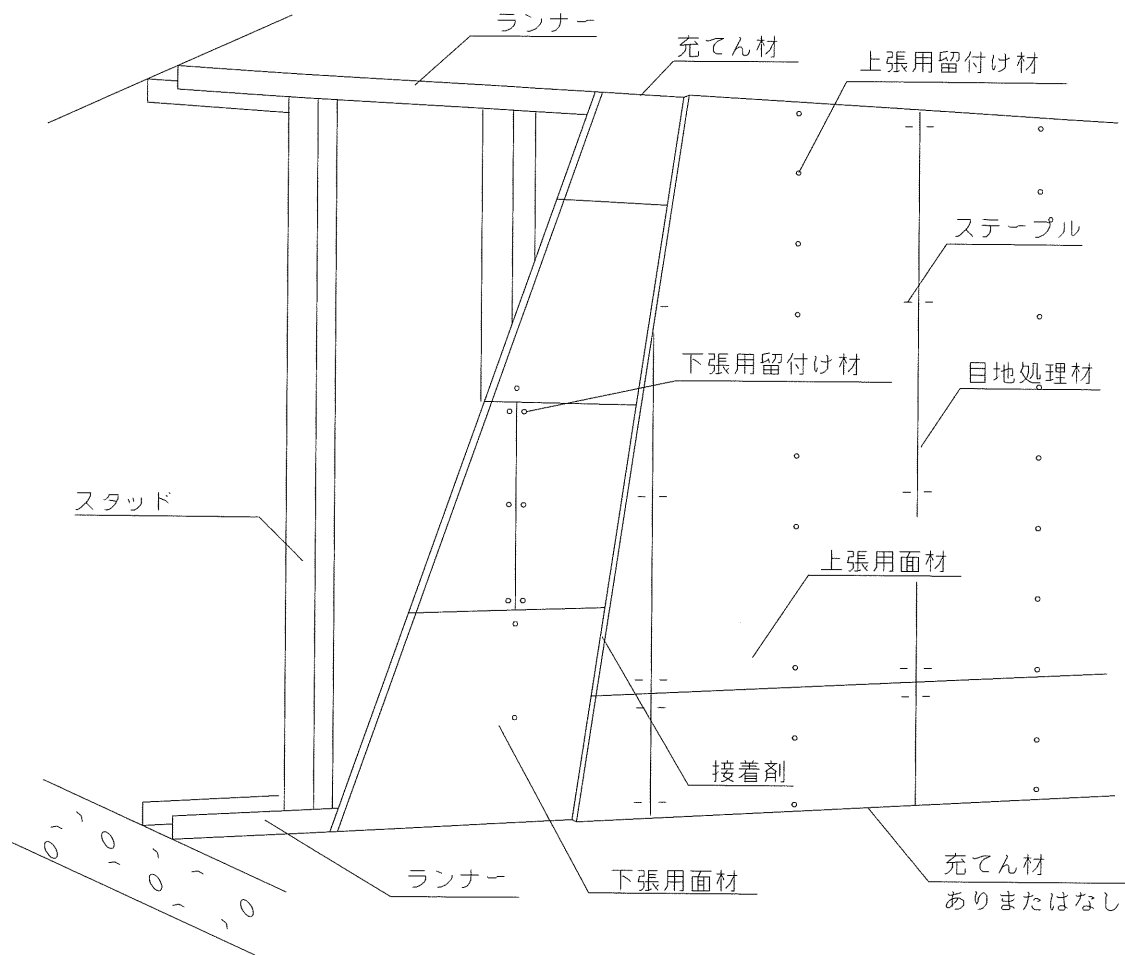
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

(1) -2 断熱材を充てんしない場合 (□型スタッド)

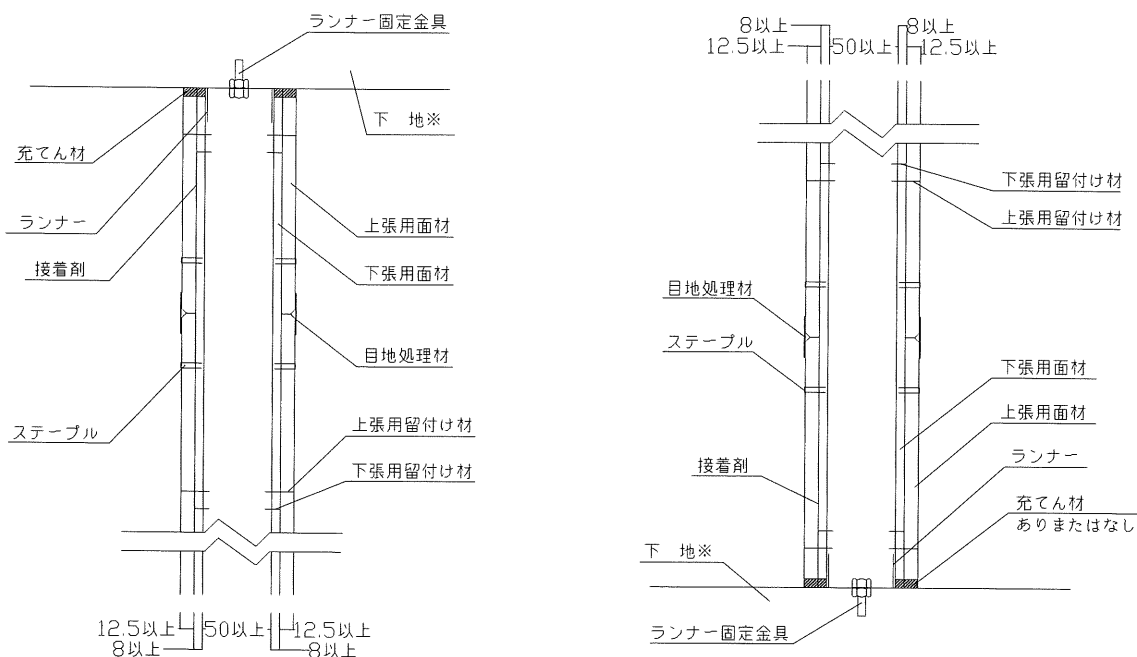
・透視図



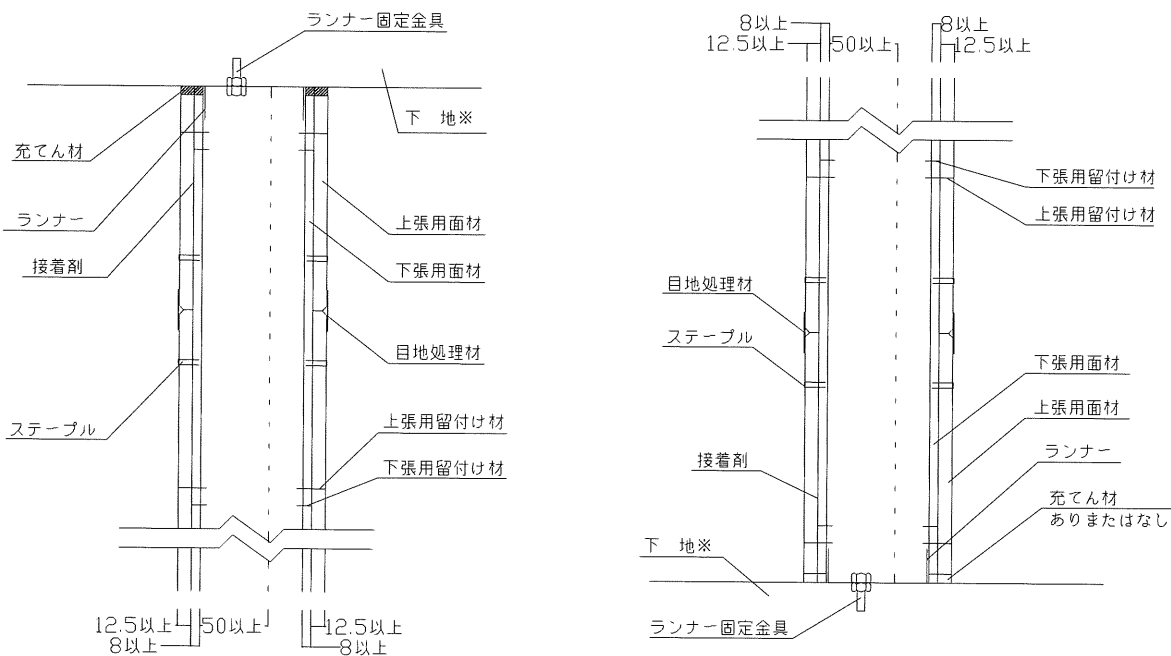
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

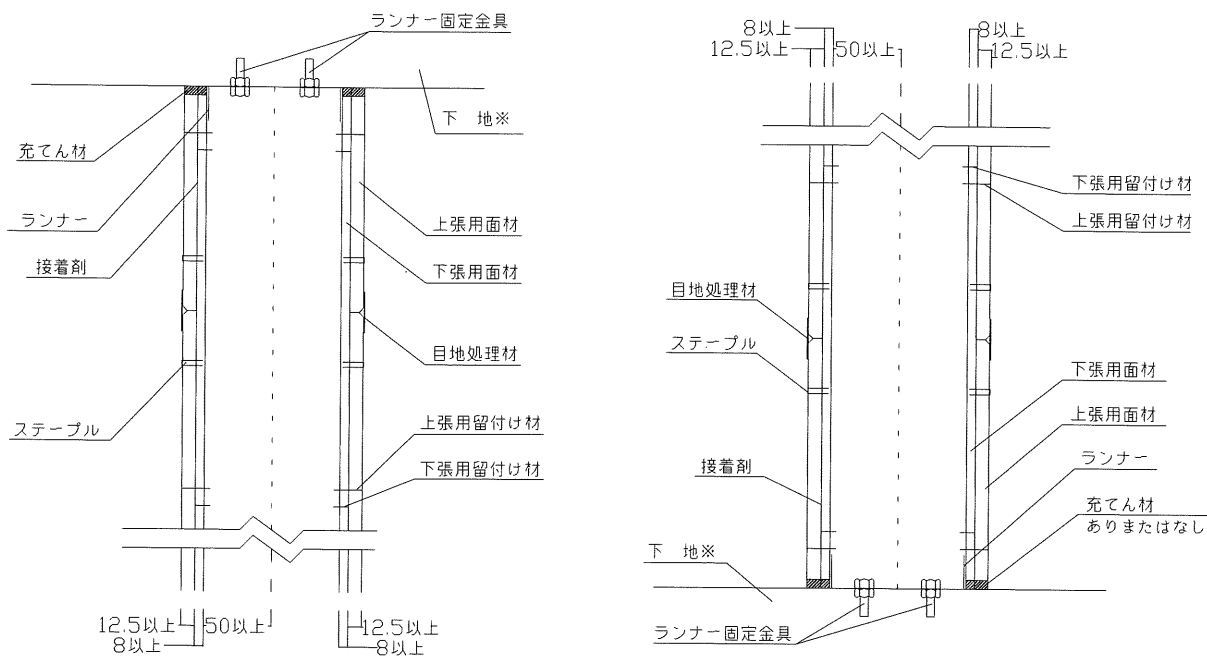


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

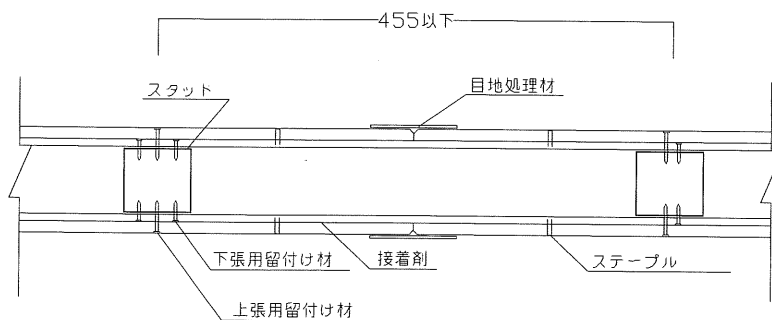
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

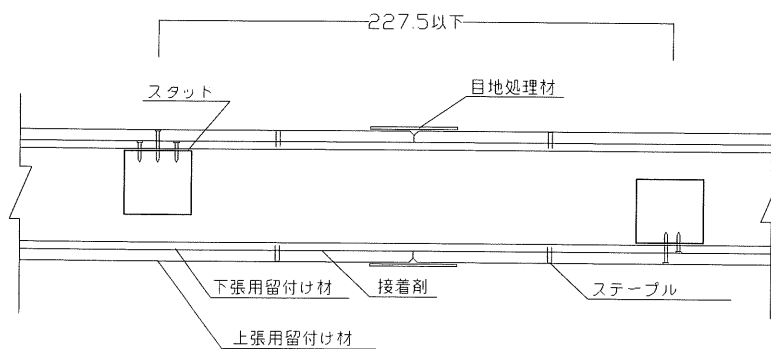
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

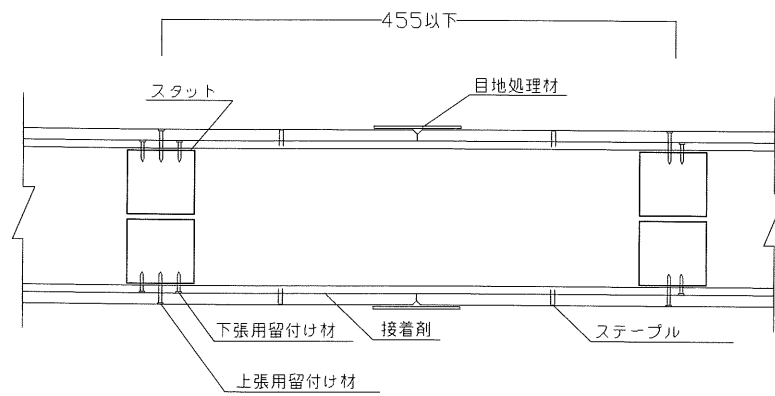


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面図 (ダブルスタッド構造)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

## 5. 施工方法

### 〈施工図〉

## 4. 構造説明図と同じ

### 〈施工手順〉

#### ①墨出し及び上下ランナーの取付け

間仕切壁の設置位置に墨出しを行い、上下ランナーをランナー固定金物にてピッチ900mm以下で取付ける。

#### ②間柱（スタッド）の取付け

固定した上下ランナーに455mm以下のピッチで取付ける。

ランナーとスタッドのクリアランスは10mm程度とする。

#### ③下張用面材の取付け

横張を標準とし、タッピンねじで、スタッドに取付ける。

製品の端部より15mm以上離れた位置に、ピッチ455mm以下で留めつける。

#### ④上張用面材の取付け

縦張を標準とし、下張用面材の目地と目地を227.5mm以上ずらして、

接着剤・タッピンねじ・ステープルの併用で取付ける。

スタッドのある部分は、タッピンねじを使用し、ピッチ455mm以下で留めつける。

スタッドのかからない部分は、ステープルにてピッチ200mm以下で留めつける。

#### ⑤目地部及び取り合い部の処理

目地部には、グラスファイバーテープを張り、せっこうボード用目地処理剤で平滑に仕上げる。

上張用面材とコーナー部等の取り合い部分は隙間のないように充てん材にて充てんする。

#### ⑥表面仕上げ

防火上支障のない材料で仕上げる。

## 1. 構造名

両面強化せっこうボード・スラグせっこう板重張/軽量鉄骨下地間仕切壁

## 2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	91以上

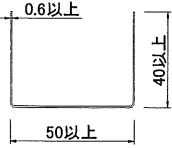
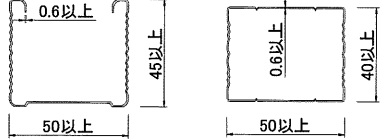
## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造								
①上張用面材	強化せっこうボード (NM-8615) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 6901</li> <li>・比重 0.75以上</li> <li>・厚さ 12.5<sub>-0.5</sub>以上</li> <li>・寸法 最大：1,210×4,000 最小：910×1,820</li> <li>・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)スクエア 2)テーパ 3)ベベル</li> <li>・張方 縦張</li> </ul>								
②下張用面材	スラグせっこう板 (NM-8314) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5430</li> <li>・密度 1.0<sub>-0.1</sub> g/cm<sup>3</sup>以上</li> <li>・厚さ 8<sub>-0.4</sub>以上</li> <li>・組成 (質量%)               <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">二水せっこう</td> <td style="padding-left: 10px;">30～50</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">スラグ</td> <td style="padding-left: 10px;">30～50</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質混和材 (パーライト等)</td> <td style="padding-left: 10px;">5～20</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">有機質繊維 (パルプ等)</td> <td style="padding-left: 10px;">5以下</td> </tr> </table> </li> <li>・寸法 最大：1,210×2,730 最小：910×1,820</li> <li>・形状 平板</li> <li>・張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)横張 (2)縦張</li> </ul>	二水せっこう	30～50	スラグ	30～50	無機質混和材 (パーライト等)	5～20	有機質繊維 (パルプ等)	5以下
二水せっこう	30～50								
スラグ	30～50								
無機質混和材 (パーライト等)	5～20								
有機質繊維 (パルプ等)	5以下								

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
③ランナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 溶融亜鉛めっき鋼板</li> <li>・規 格 JIS G 3302</li> <li>・寸 法 □ - 50×40×0.6 の断面寸法以上</li> </ul> 
④スタッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 溶融亜鉛めっき鋼板</li> <li>・規 格 JIS G 3302</li> <li>・寸 法               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) □ - 50×45×0.6 の断面寸法以上</li> <li>(2) □ - 50×40×0.6 の断面寸法以上</li> </ul> </li> <li>・間 隔 455 以下</li> <li>・上部ランナーとの隙間 10±1</li> <li>・工 法               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) 共通間柱工法</li> <li>(2) 千鳥工法</li> <li>(3) ダブルスタッド工法</li> </ul> </li> </ul>  <p style="text-align: center;">□型                      □型</p>
⑤振れ止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) なし (□型スタッドの場合)</li> <li>(2) あり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 溶融亜鉛めっき鋼板</li> <li>・規 格 JIS G 3302</li> <li>・寸 法 [-19×10×0.9 の断面寸法以上</li> <li>・間 隔 1200 以下</li> </ul> </li> </ul>
⑦スペーサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) なし (□型スタッドの場合)</li> <li>(2) あり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 溶融亜鉛めっき鋼板</li> <li>・規 格 JIS G 3302</li> <li>・厚 さ 0.8 以上</li> <li>・間 隔 600 以下</li> </ul> </li> </ul>

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①ランナー固定金物	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)コンクリート下地用 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)コンクリートくぎ ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上 $\times \phi 30$ 以上 ・間 隔 900 以下 2)発射打込みびょう ・規 格 JIS A 5529 ・寸 法 $\phi 3.0$ 以上 $\times \phi 20$ 以上 ・間 隔 900 以下 (2)鉄骨下地用 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)ボルト ・規 格 JIS B 1180 ・寸 法 M8 以上 $\times \phi 25$ 以上 ・間 隔 900 以下 2)タッピンねじ ・材 質 JIS G 3505 JIS G 3506 JIS G 3507 JIS G 4051 ・寸 法 $\phi 3.0$ 以上 $\times \phi 20$ 以上 ・間 隔 900 以下 3)溶 接
②留付け材	[1] 上張用 [1]-1 タッピンねじ ・材 質 JIS G 3505 JIS G 3506 JIS G 3507 JIS G 4051 ・寸 法 $\phi 3.5$ 以上 $\times \phi 32$ 以上 ・間 隔 455 以下 [1]-2 ステープル ・材 質 JIS G 3505 JIS G 3506 ・寸 法 幅 4 以上 $\times$ 足長 19 以上 ・間 隔 200 以下 [2] 下張用 タッピンねじ ・材 質 JIS G 3505 JIS G 3506 JIS G 3507 JIS G 4051 ・寸 法 $\phi 3.0$ 以上 $\times \phi 20$ 以上 ・間 隔 455 以下

(寸法単位：mm)

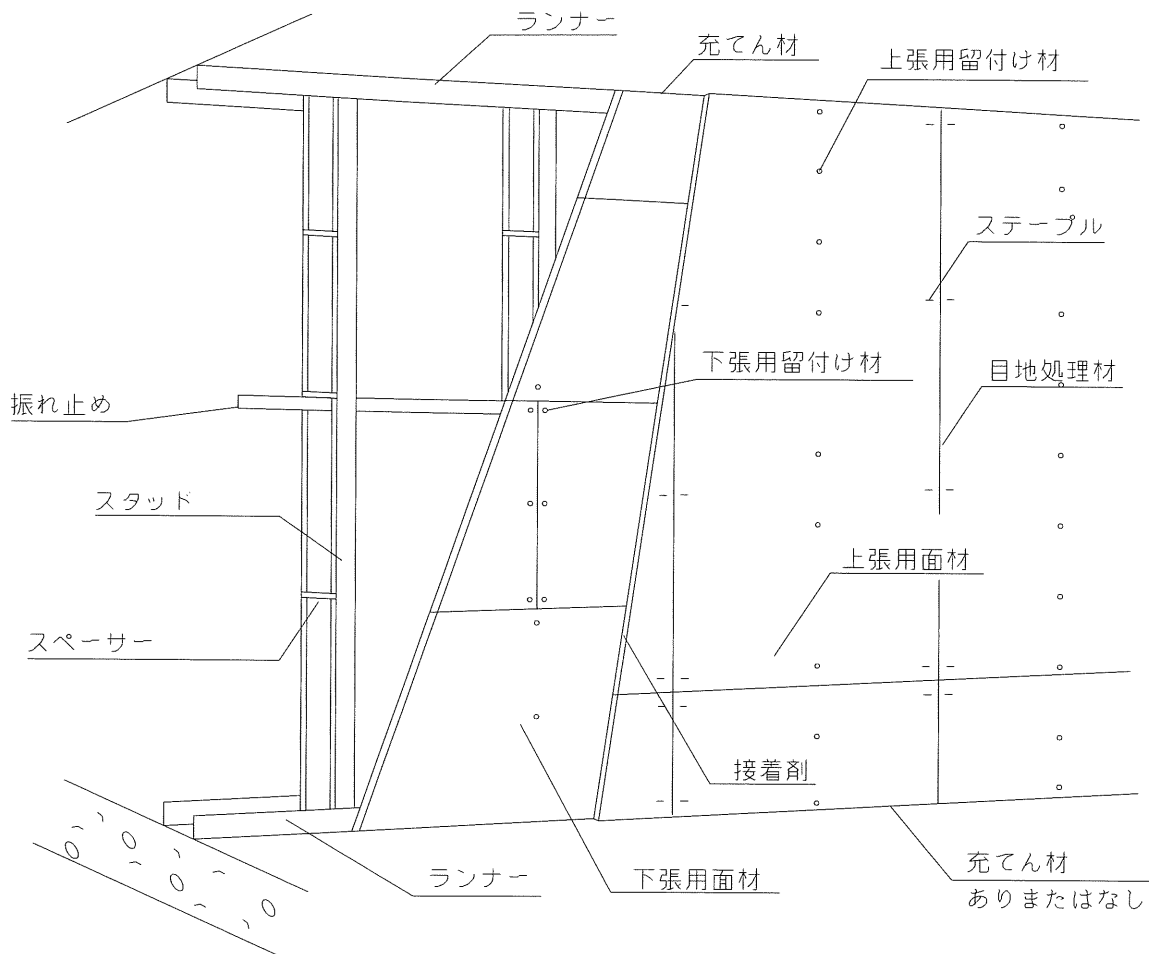
項 目	申 請 構 造
③接着剤	無機質系接着剤（炭酸カルシウム系） ・塗布量 500g/m <sup>2</sup> 以上
④目地処理材	[1] せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・塗布量 130g/m以上 [2] グラスファイバーテープ ・厚 さ 0.2以上 ・幅 50以上
⑤充てん材	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様もしくは組合せとする (1) せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・使用量 230g/m以上 (2) ロックウール ・規 格 JIS A 6301、9504 ・密 度 32 kg/m <sup>3</sup> 以上 (3) ロックウール・ガラス繊維混紡フェルト ・密 度 150 kg/m <sup>3</sup> (4) シーリング材 ・材 質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) シリコン系樹脂 2) ウレタン系樹脂 3) 変成シリコン系樹脂 ・使用量 230g/m以下 (5) なし（下部の取合い部分に限る）

#### 4、構造説明図

(寸法単位:mm)

(1) -1 断熱材を充てんしない場合 (C型スタッド)

・透視図

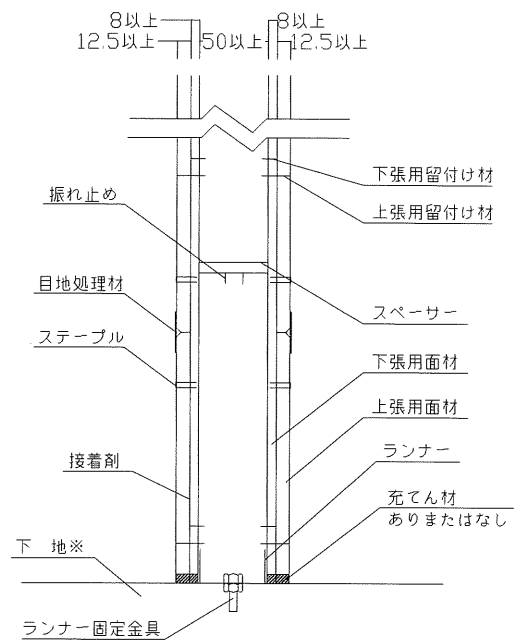
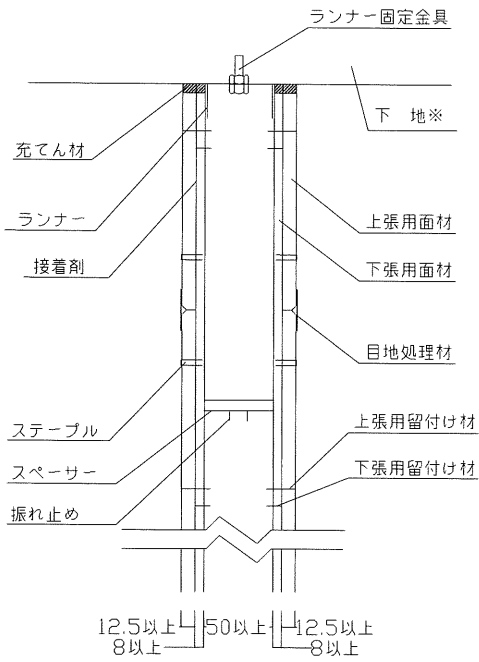


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

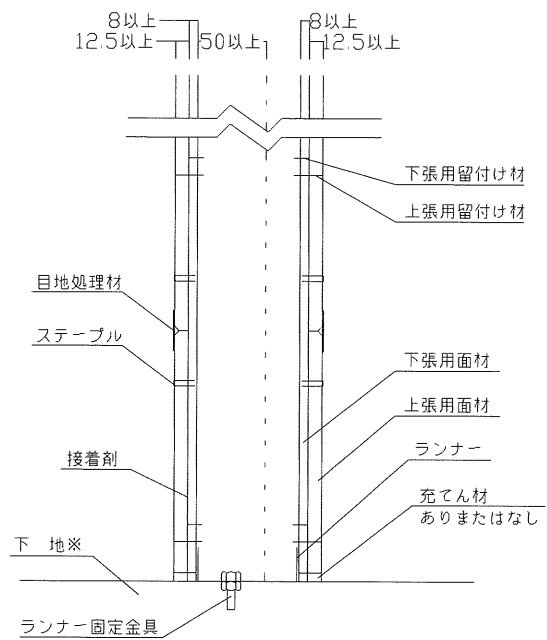
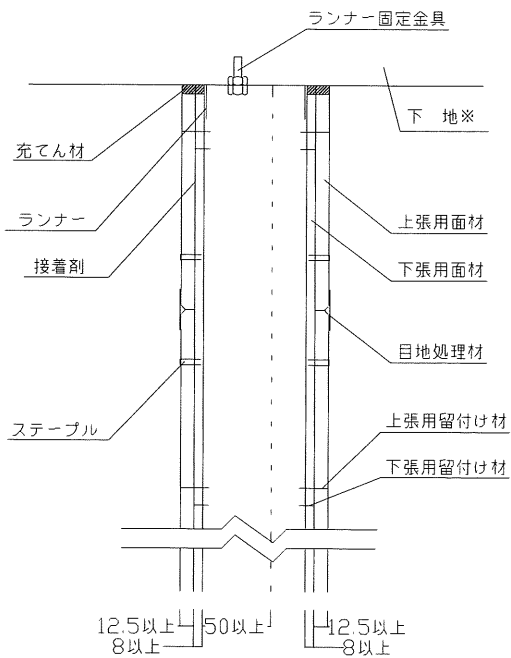
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

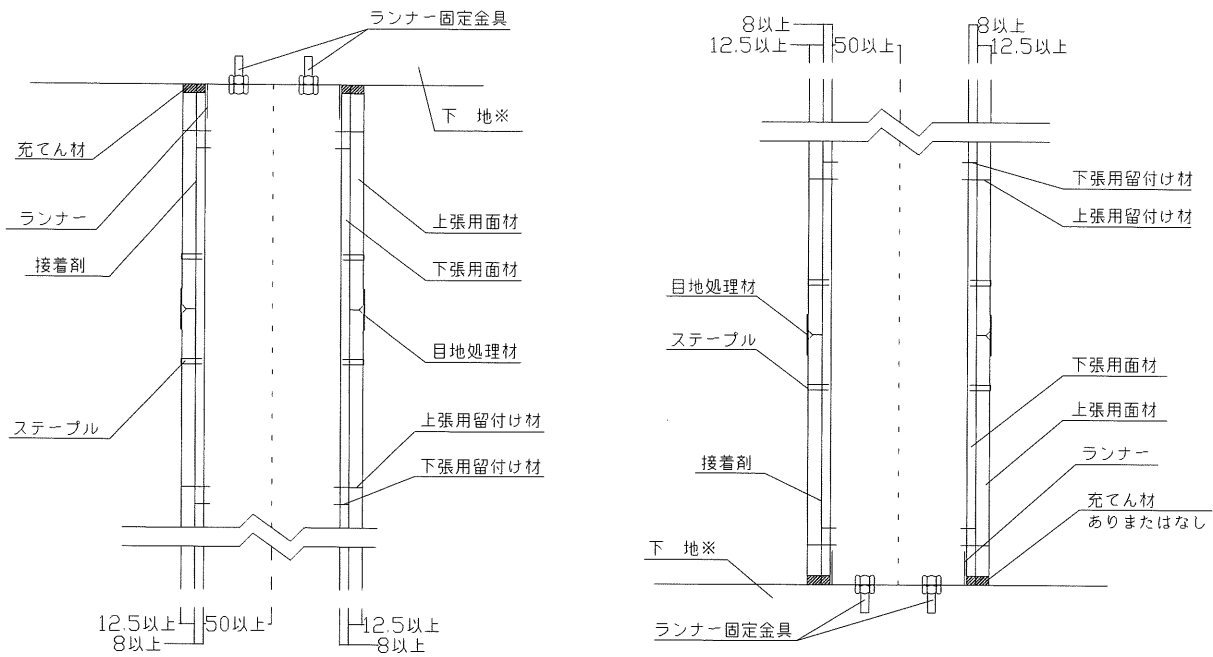


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

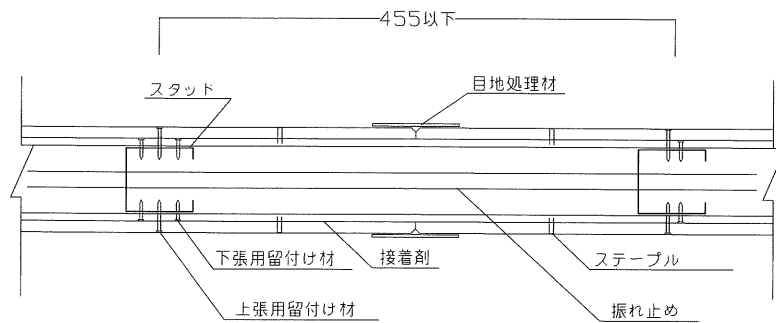
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

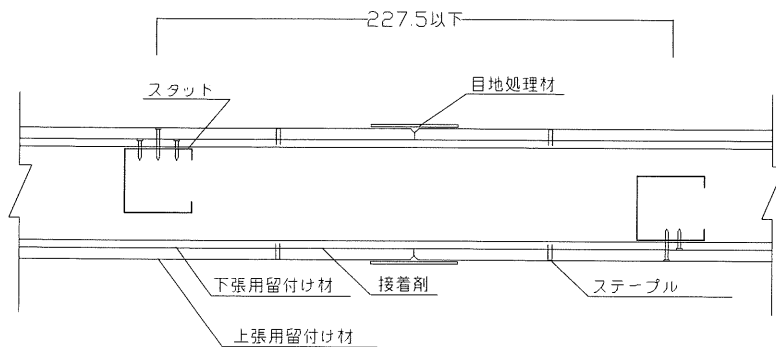
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

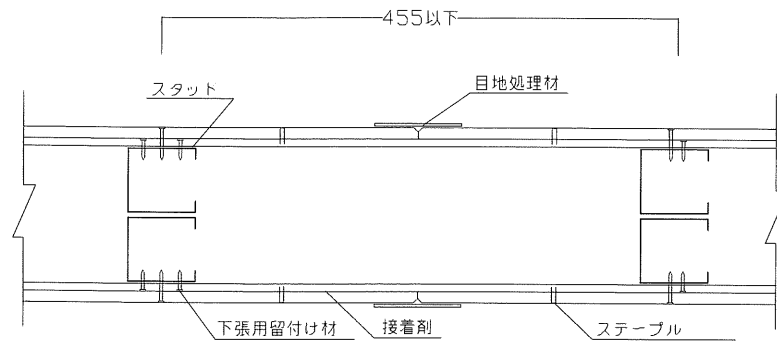


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



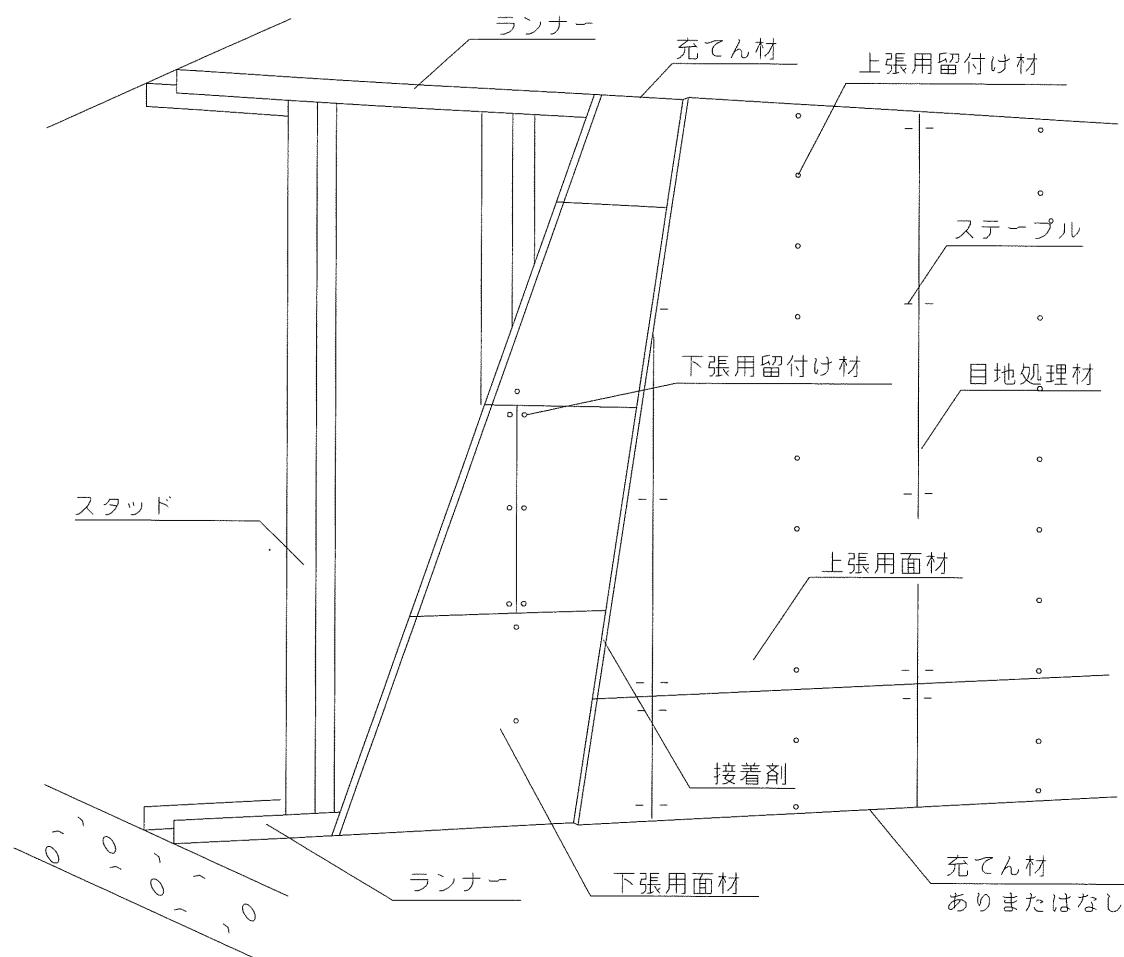
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

(1) -2 断熱材を充てんしない場合 (□型スタッド)

・透視図

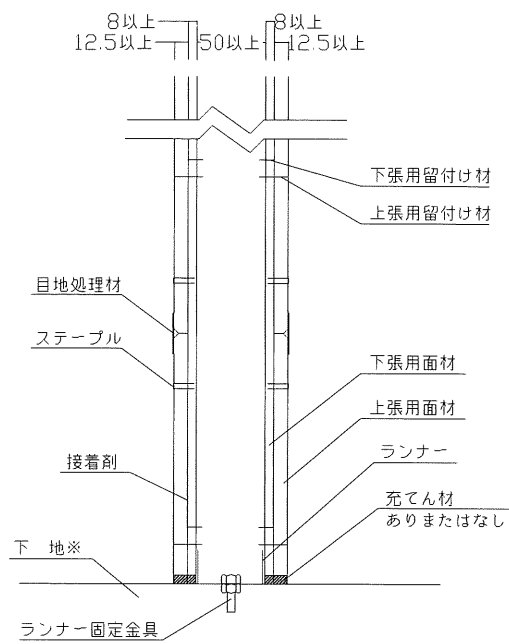
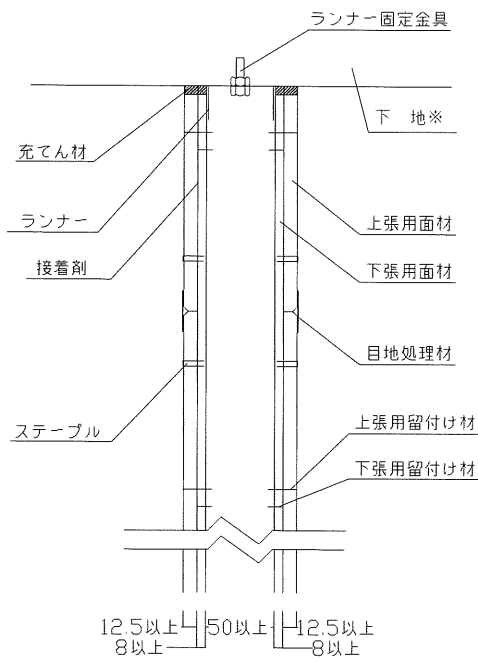


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

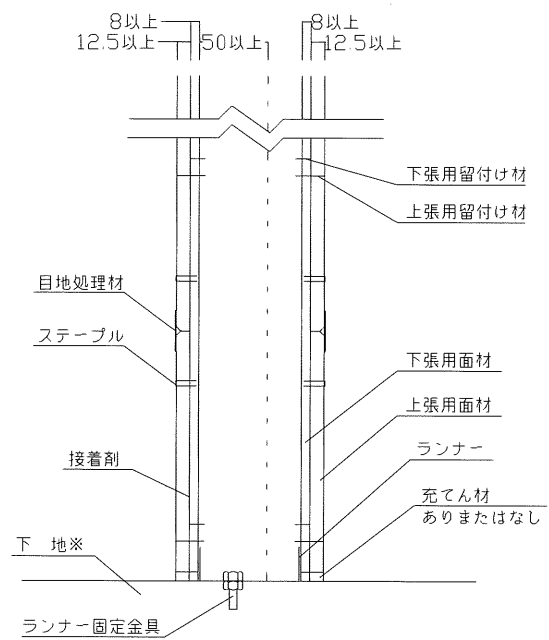
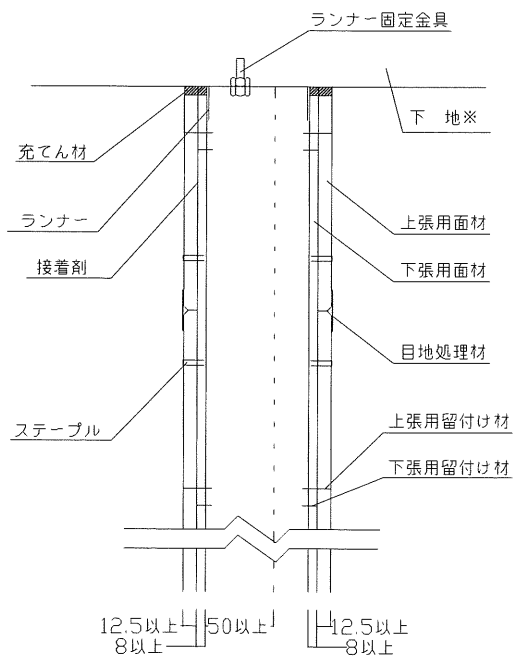
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

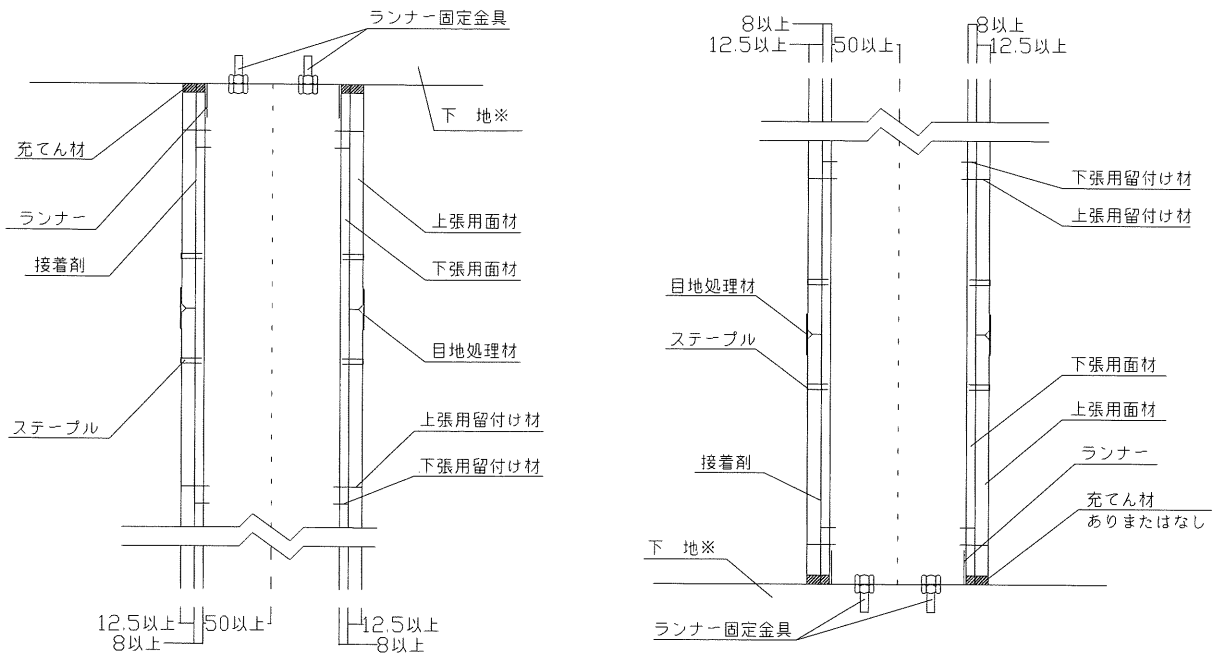


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

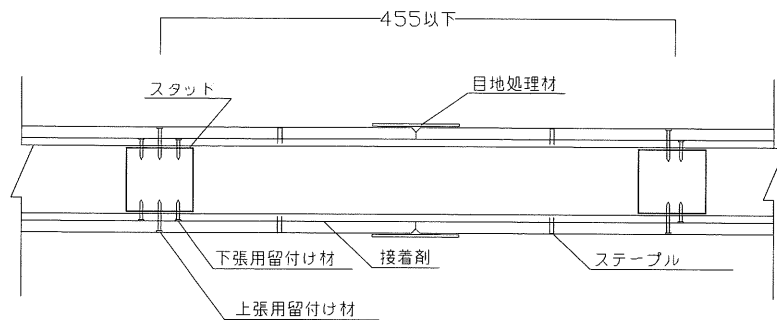
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

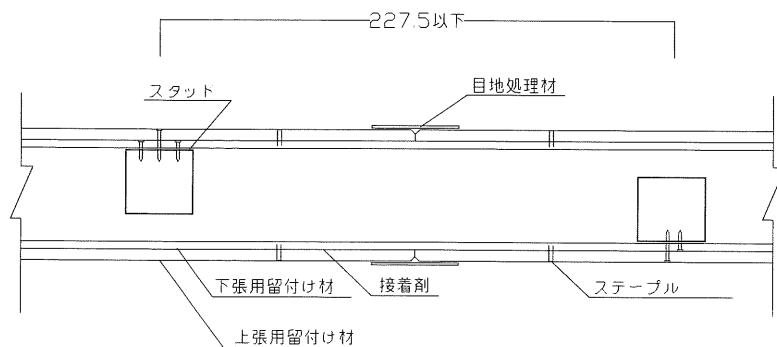
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

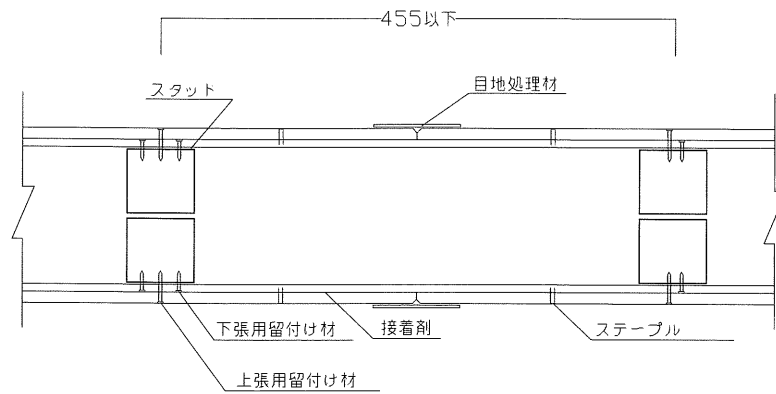


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面図 (ダブルスタッド構造)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

## 5. 施工方法

### 〈施工図〉

#### 4. 構造説明図と同じ

### 〈施工手順〉

#### ① 墨出し及び上下ランナーの取付け

間仕切壁の設置位置に墨出しを行い、上下ランナーをランナー固定金物にてピッチ900mm以下で取付ける。

#### ② 間柱（スタッド）の取付け

固定した上下ランナーに455mm以下のピッチで取付ける。  
ランナーとスタッドのクリアランスは10mm程度とする。

#### ③ 下張用面材の取付け

横張を標準とし、タッピンねじで、スタッドに取付ける。  
製品の端部より15mm以上離れた位置に、ピッチ455mm以下で留めつける。

#### ④ 上張用面材の取付け

縦張を標準とし、下張用面材の目地と目地を227.5mm以上ずらして、  
接着剤・タッピンねじ・ステープルの併用で取付ける。  
スタッドのある部分は、タッピンねじを使用し、ピッチ455mm以下で留めつける。  
スタッドのかからない部分は、ステープルにてピッチ200mm以下で留めつける。

#### ⑤ 目地部及び取り合い部の処理

目地部には、グラスファイバーテープを張り、せっこうボード用目地処理剤で平滑に仕上げる。  
上張用面材とコーナー部等の取り合い部分は隙間のないように充てん材にて充てんする。

#### ⑥ 表面仕上げ

防火上支障のない材料で仕上げる。

## 1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん/両面せっこうボード・スラグせっこう板重張/軽量鉄骨下地間仕切壁

## 2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

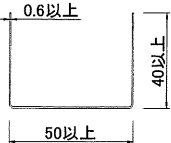
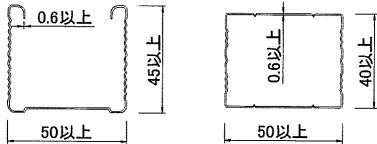
項目	申請構造
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	91以上

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造								
①上張用面材	せっこうボード (NM-8619) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 6901</li> <li>・比重 0.67<sub>-0.02</sub>以上</li> <li>・厚さ 12.5<sub>-0.5</sub>以上</li> <li>・寸法 最大：1,210×4,000 最小：910×1,820</li> <li>・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)スクエア 2)テーパ 3)ベベル</li> <li>・張方 縦張</li> </ul>								
②下張用面材	スラグせっこう板 (NM-8314) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5430</li> <li>・密度 1.0<sub>-0.1</sub> g/cm<sup>3</sup>以上</li> <li>・厚さ 8<sub>-0.4</sub>以上</li> <li>・組成 (質量%)               <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">二水せっこう</td> <td style="padding-left: 10px;">30～50</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">スラグ</td> <td style="padding-left: 10px;">30～50</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質混和材 (パーライト等)</td> <td style="padding-left: 10px;">5～20</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">有機質繊維 (パルプ等)</td> <td style="padding-left: 10px;">5以下</td> </tr> </table> </li> <li>・寸法 最大：1,210×2,730 最小：910×1,820</li> <li>・形状 平板</li> <li>・張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)横張 (2)縦張</li> </ul>	二水せっこう	30～50	スラグ	30～50	無機質混和材 (パーライト等)	5～20	有機質繊維 (パルプ等)	5以下
二水せっこう	30～50								
スラグ	30～50								
無機質混和材 (パーライト等)	5～20								
有機質繊維 (パルプ等)	5以下								

項 目	申 請 構 造
③断熱材	人造鉱物繊維断熱材 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) グラスウール ・規 格 JIS A 6301、JIS A 9504 ・密 度 16 kg/m <sup>3</sup> 以上 ・厚 さ 25 以上 2) ロックウール ・規 格 JIS A 6301、JIS A 9504 ・密 度 24 kg/m <sup>3</sup> 以上 ・厚 さ 25 以上
④ランナー	・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・寸 法 □- 50×40×0.6 の断面寸法以上  
⑤スタッド	・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・寸 法 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) □- 50×45×0.6 の断面寸法以上 (2) □- 50×40×0.6 の断面寸法以上 ・間 隔 455 以下 ・上部ランナーとの隙間 10±1   □型                      □型  ・工 法 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 共通間柱工法 (2) 千鳥工法 (3) ダブルスタッド工法
⑥振れ止め	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (□型スタッドの場合) (2) あり ・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・寸 法 [-19×10×0.9 の断面寸法以上 ・間 隔 1200 以下
⑦スペーサー	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (□型スタッドの場合) (2) あり ・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・厚 さ 0.8 以上 ・間 隔 600 以下

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①ランナー固定金物	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)コンクリート下地用</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)コンクリートくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸 法 <math>\phi 4.0</math> 以上<math>\times \phi 30</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>2)発射打込みびょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 5529</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times \phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>(2)鉄骨下地用</p> <p>1)～3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS B 1180</li> <li>・寸 法 M8 以上<math>\times \phi 25</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>2)タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times \phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>3)溶 接</p>
②固定ピン (断熱材固定用)	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li>・寸 法 幅 4 以上<math>\times</math>足長 19 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul>
③留付け材	<p>[1] 上張用</p> <p>[1]-1 タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.5</math> 以上<math>\times \phi 32</math> 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul> <p>[1]-2 ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li>・寸 法 幅 4 以上<math>\times</math>足長 19 以上</li> <li>・間 隔 200 以下</li> </ul> <p>[2] 下張用</p> <p>タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times \phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul>

(寸法単位：mm)

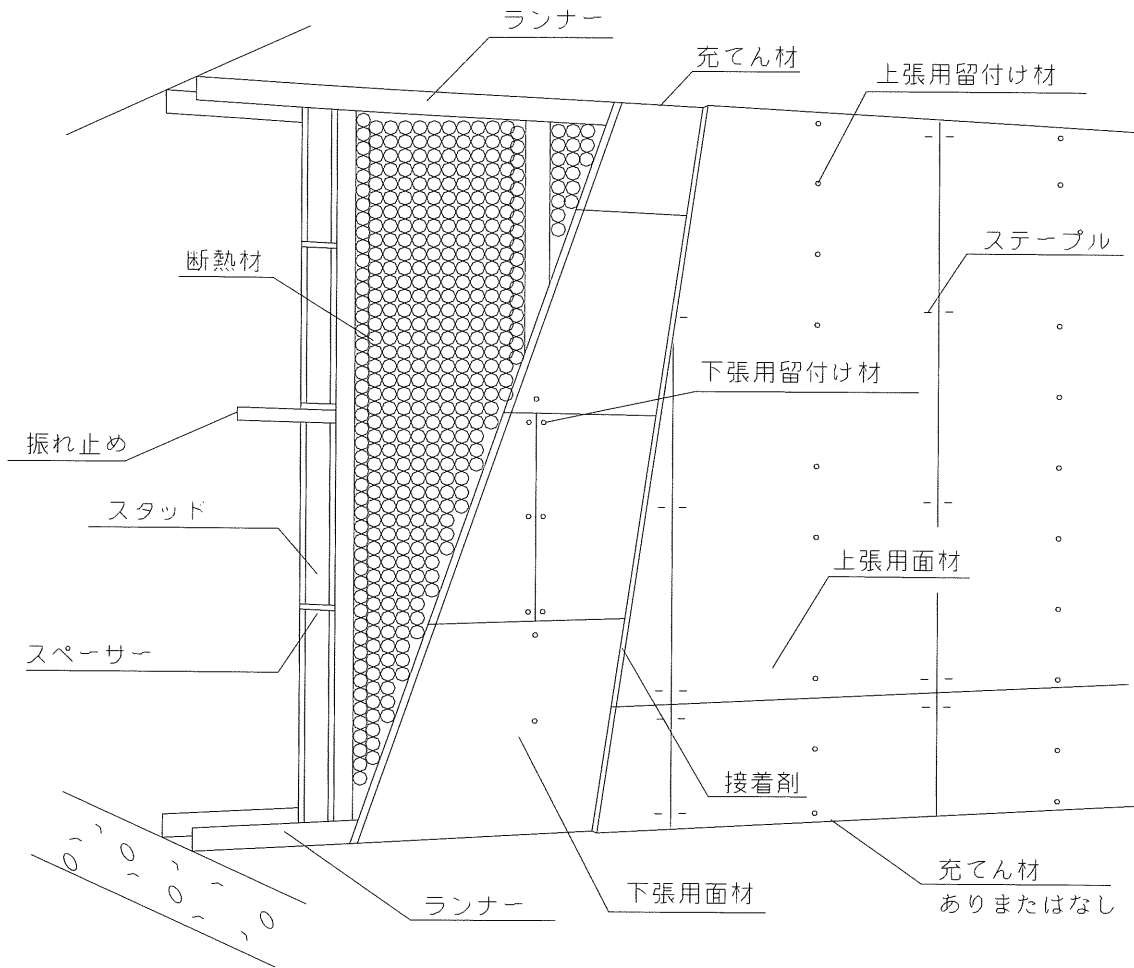
項 目	申 請 構 造
④接着剤	無機質系接着剤（炭酸カルシウム系） ・塗布量 500g/m <sup>2</sup> 以上
⑤目地処理材	[1] せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・塗布量 130g/m以上 [2] グラスファイバーテープ ・厚 さ 0.2以上 ・幅 50以上
⑥充てん材	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様もしくは組合せとする (1) せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・使用量 230g/m以上 (2) ロックウール ・規 格 JIS A 6301、9504 ・密 度 32 kg/m <sup>3</sup> 以上 (3) ロックウール・ガラス繊維混紡フェルト ・密 度 150 kg/m <sup>3</sup> (4) シーリング材 ・材 質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) シリコーン系樹脂 2) ウレタン系樹脂 3) 変成シリコーン系樹脂 ・使用量 230g/m以下 (5) なし（下部の取合い部分に限る）

4. 構造説明図

(寸法単位:mm)

(1) -1 断熱材を充てんする場合 (C型スタッド)

・透視図

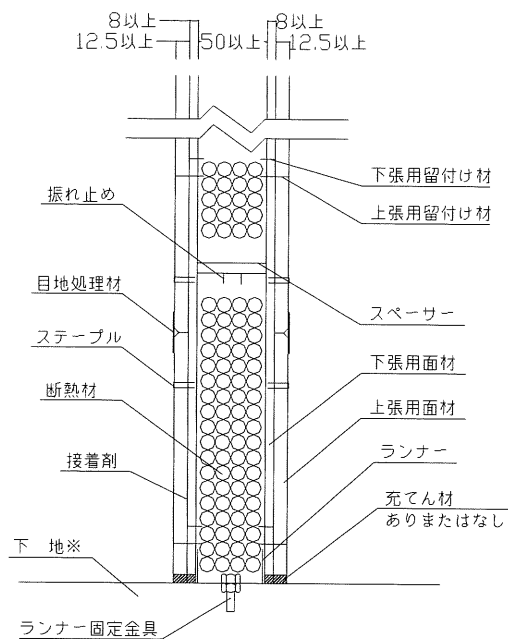
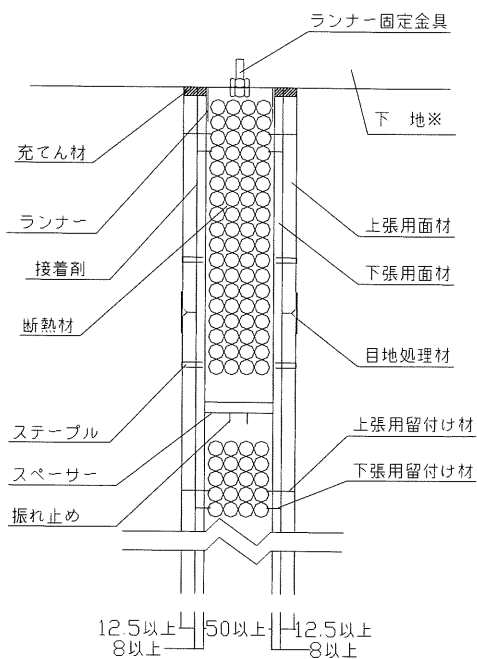


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

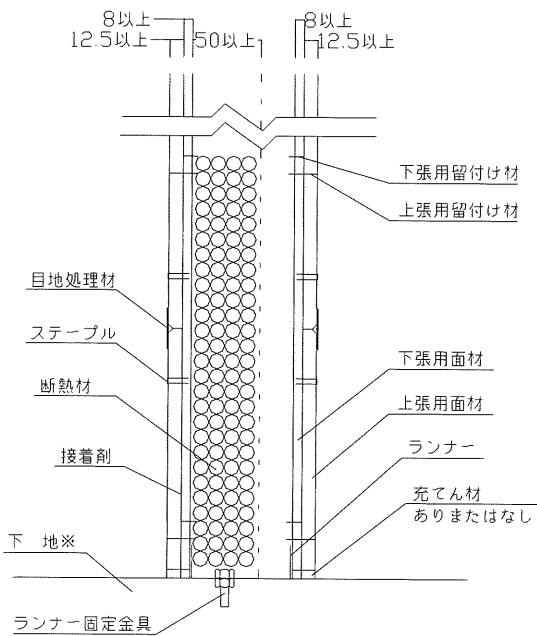
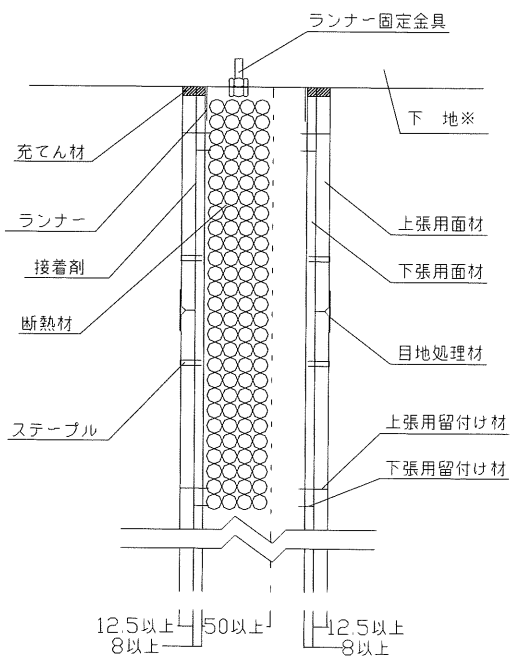
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

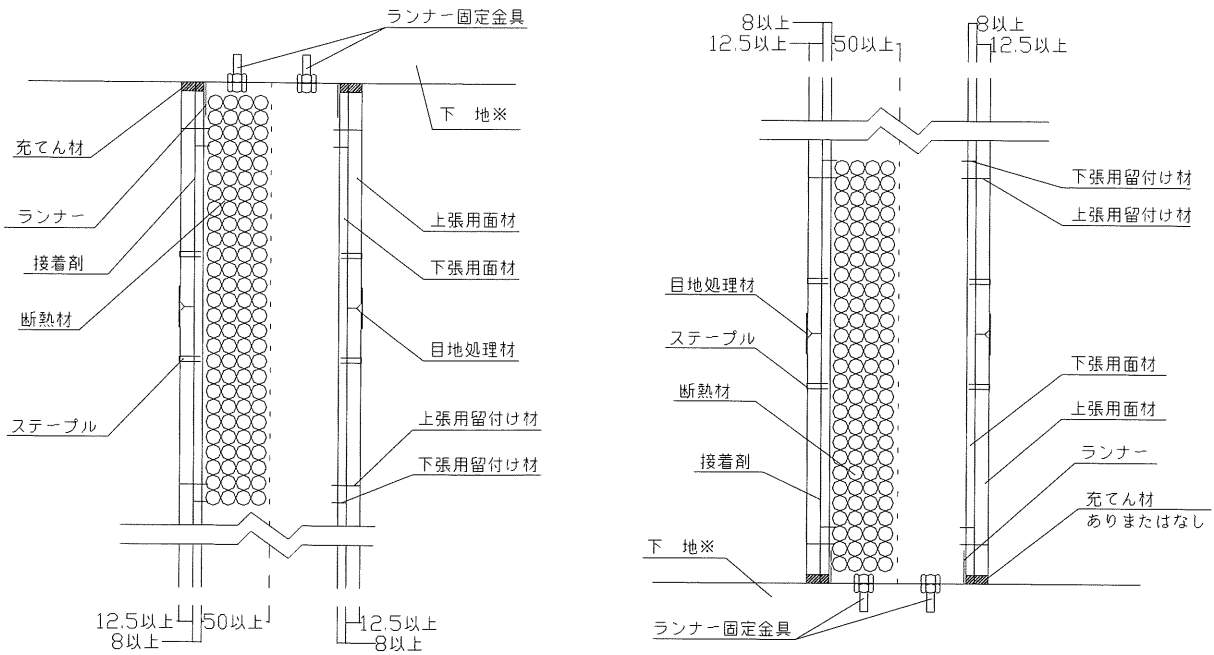


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

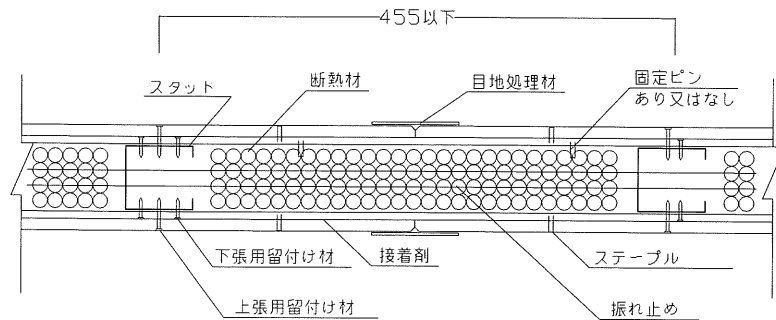
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

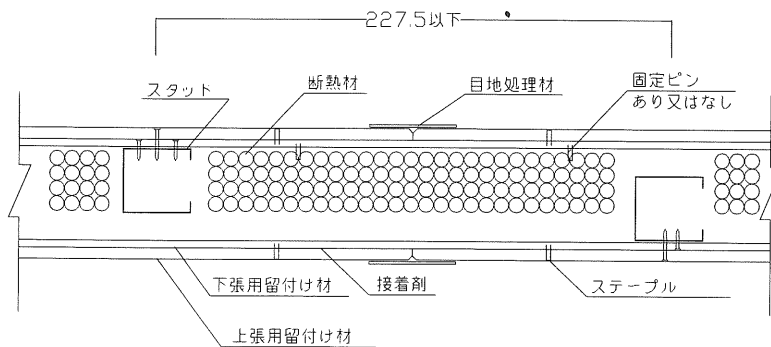
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

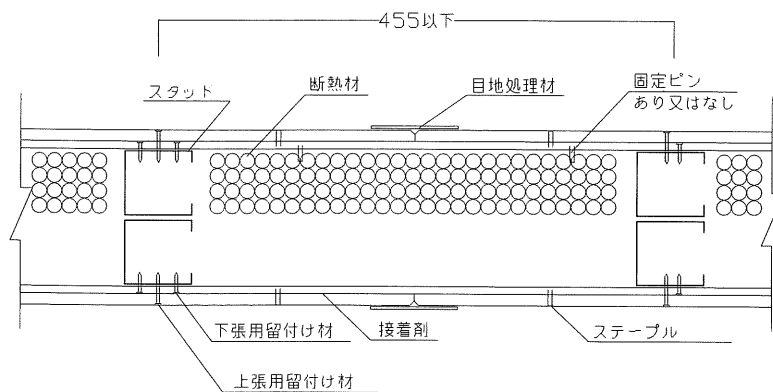


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面詳細図 (ダブルスタッド構造)

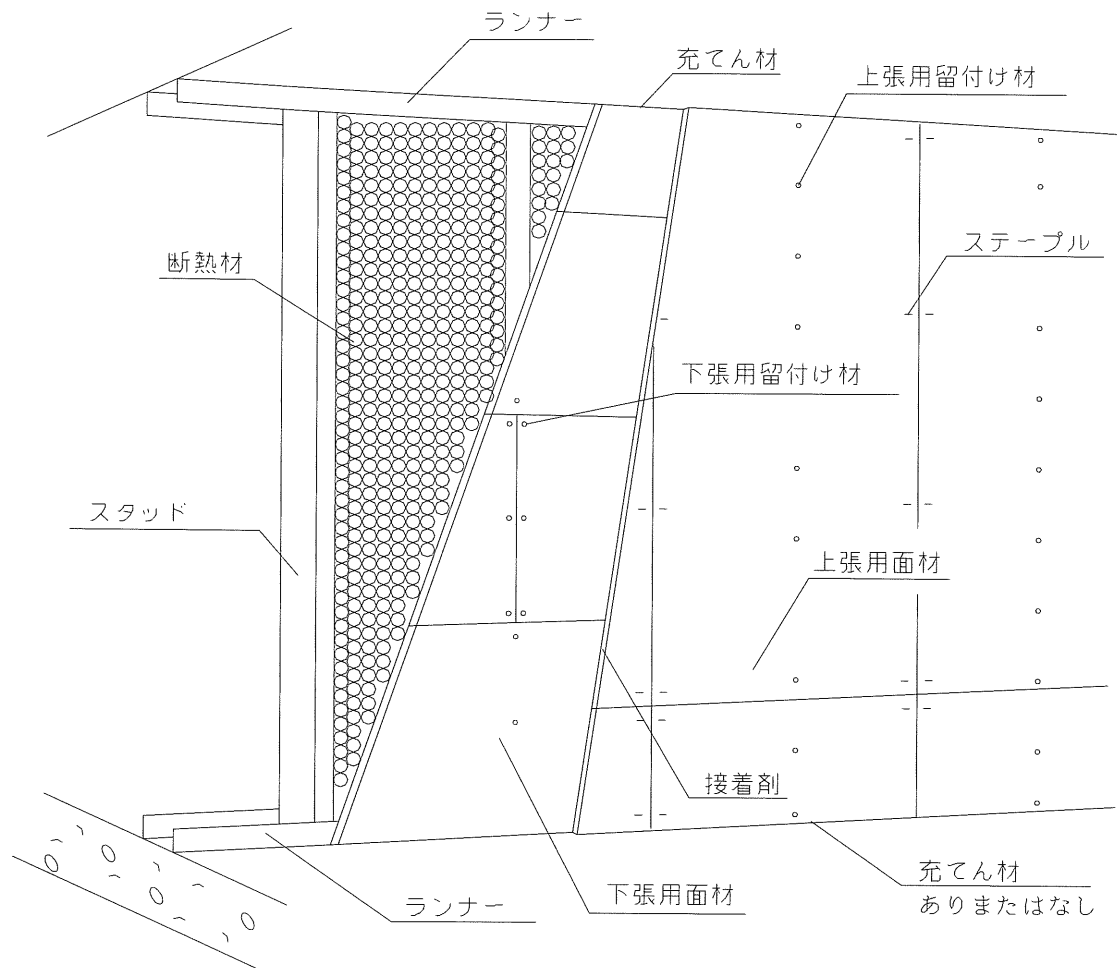


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

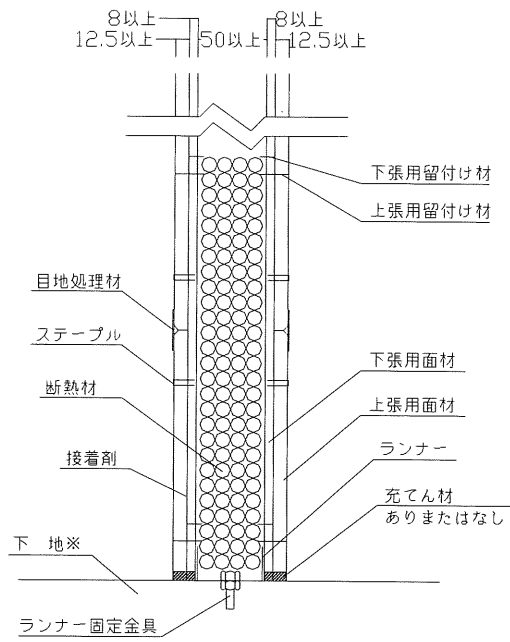
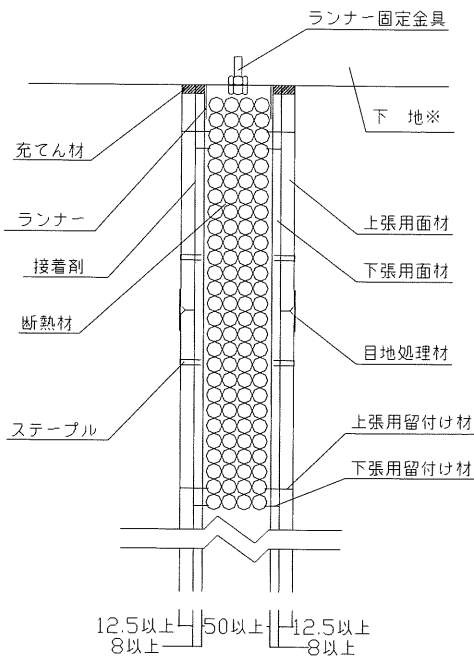
(1) -1 断熱材を充てんする場合 (□型スタッド)  
・透視図



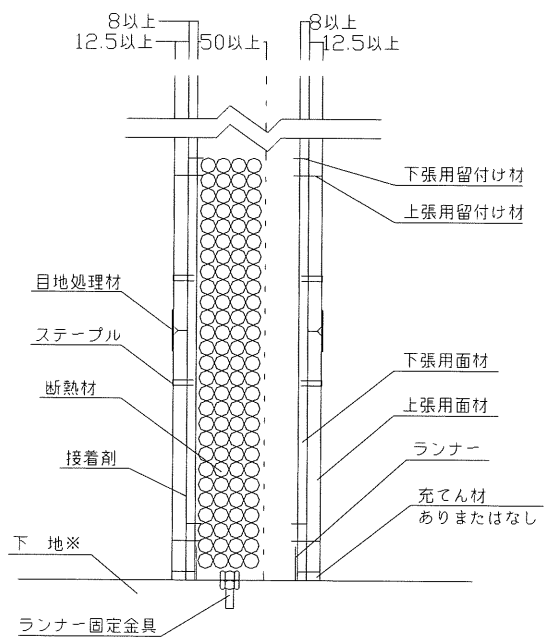
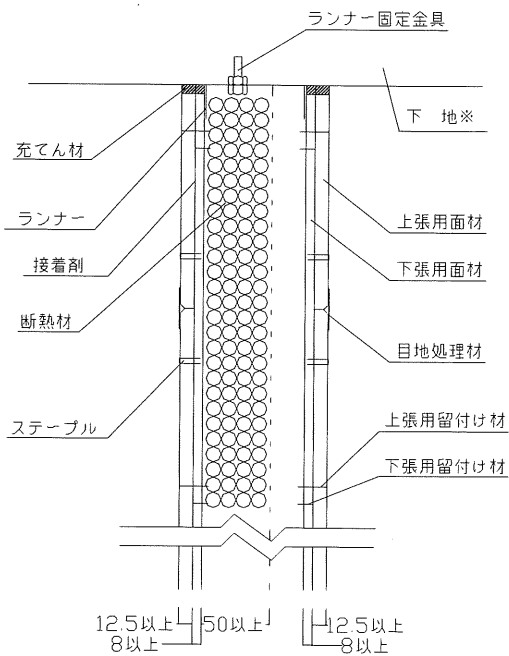
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



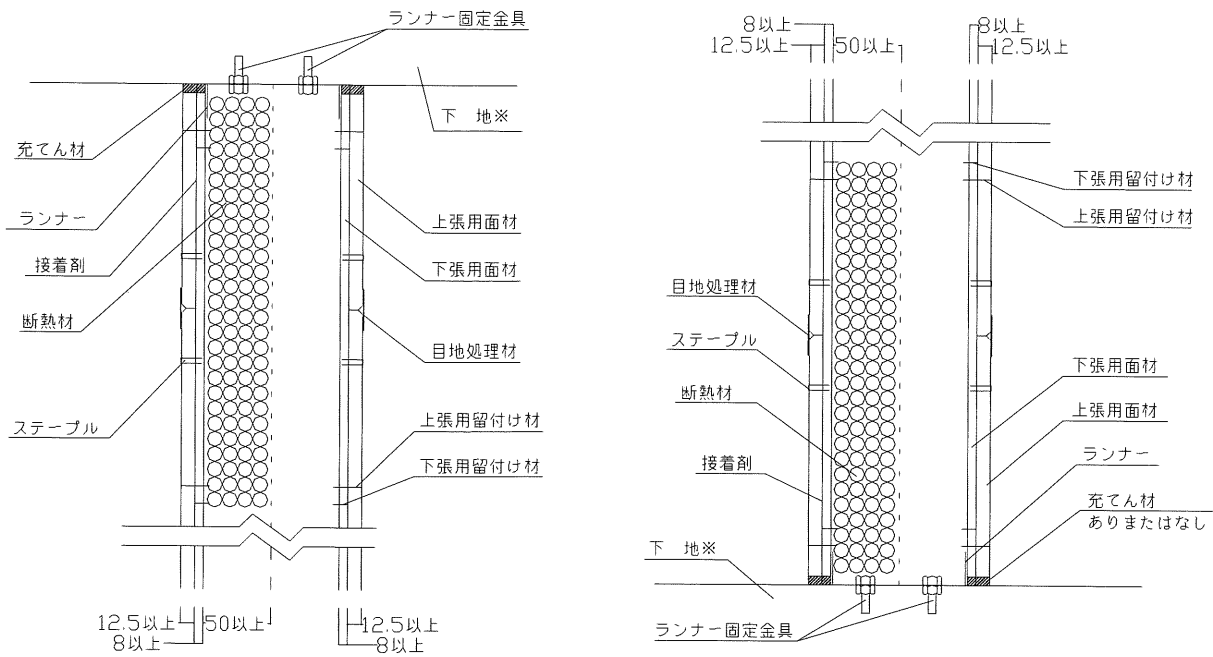
・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)



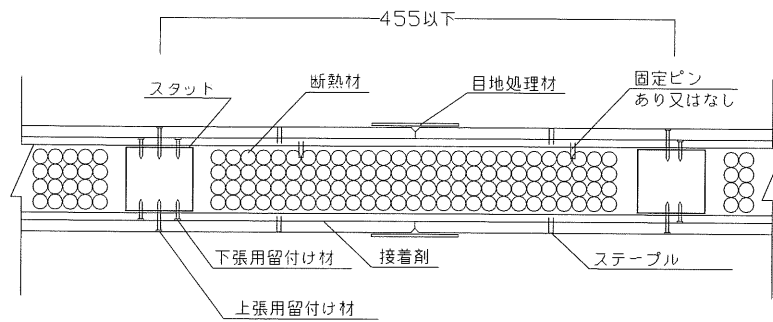
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
 ※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

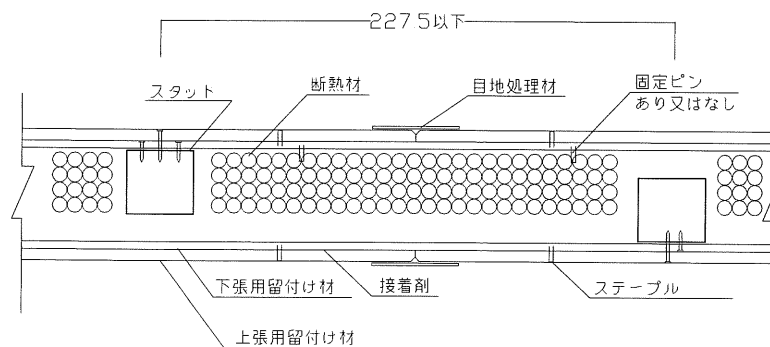
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細面図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

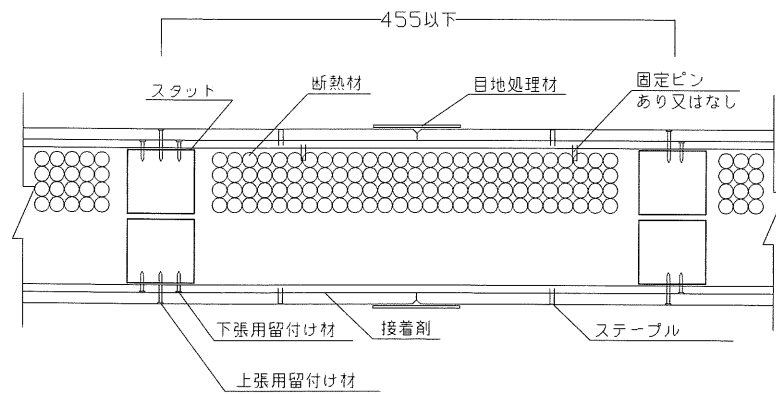


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

## 5. 施工方法

### 〈施工図〉

#### 4. 構造説明図と同じ

### 〈施工手順〉

#### ①墨出し及び上下ランナーの取付け

間仕切壁の設置位置に墨出しを行い、上下ランナーをランナー固定金物にてピッチ900mm以下で取付ける。

#### ②間柱（スタッド）の取付け

固定した上下ランナーに455mm以下のピッチで取付ける。

ランナーとスタッドのクリアランスは10mm程度とする。

#### ③下張用面材の取付け

横張を標準とし、タッピンねじで、スタッドに取付ける。

製品の端部より15mm以上離れた位置に、ピッチ455mm以下で留めつける。

#### ④上張用面材の取付け

縦張を標準とし、下張用面材の目地と目地を227.5mm以上ずらして、

接着剤・タッピンねじ・ステープルの併用で取付ける。

スタッドのある部分は、タッピンねじを使用し、ピッチ455mm以下で留めつける。

スタッドのかからない部分は、ステープルにてピッチ200mm以下で留めつける。

#### ⑤断熱材（断熱材を使用する場合）

断熱材を使用する場合はグラスウール、若しくはロックウールを壁内部に充てんする。

#### ⑥目地部及び取り合い部の処理

目地部には、グラスファイバーテープを張り、せっこうボード用目地処理剤で平滑に仕上げる。

上張用面材とコーナー部等の取り合い部分は隙間のないように充てん材にて充てんする。

#### ⑦表面仕上げ

防火上支障のない材料で仕上げる。

1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん/両面強化せっこうボード・スラグせっこう板重張/軽量鉄骨下地間仕切壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

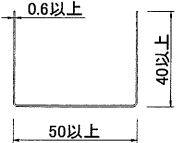
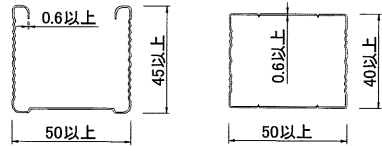
項目	申請構造
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	91以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
①上張用面材	強化せっこうボード (NM-8615) ・規格 JIS A 6901 ・比重 0.75以上 ・厚さ 12.5 <sub>-0.5</sub> 以上 ・寸法 最大：1,210×4,000 最小：910×1,820 ・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)スクエア 2)テーパ 3)ベベル ・張方 縦張
②下張用面材	スラグせっこう板 (NM-8314) ・規格 JIS A 5430 ・密度 1.0 <sub>-0.1</sub> g/cm <sup>3</sup> 以上 ・厚さ 8 <sub>-0.4</sub> 以上 ・組成 (質量%) { 二水せっこう 30～50 スラグ 30～50 無機質混和材 (パーライト等) 5～20 有機質繊維 (パルプ等) 5以下 ・寸法 最大：1,210×2,730 最小：910×1,820 ・形状 平板 ・張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)横張 (2)縦張

項 目	申 請 構 造
③断熱材	人造鉱物繊維断熱材 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) グラスウール ・規 格 JIS A 6301、JIS A 9504 ・密 度 16 kg/m <sup>3</sup> 以上 ・厚 さ 25 以上 2) ロックウール ・規 格 JIS A 6301、JIS A 9504 ・密 度 24 kg/m <sup>3</sup> 以上 ・厚 さ 25 以上
④ランナー	・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・寸 法 □ - 50×40×0.6 の断面寸法以上  
⑤スタッド	・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・寸 法 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) □ - 50×45×0.6 の断面寸法以上 (2) □ - 50×40×0.6 の断面寸法以上 ・間 隔 455 以下 ・上部ランナーとの隙間 10±1   □型                      □型  ・工 法 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 共通間柱工法 (2) 千鳥工法 (3) ダブルスタッド工法
⑥振れ止め	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (□型スタッドの場合) (2) あり ・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・寸 法 [-19×10×0.9 の断面寸法以上 ・間 隔 1200 以下
⑦スペーサー	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (□型スタッドの場合) (2) あり ・材 質 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3302 ・厚 さ 0.8 以上 ・間 隔 600 以下

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①ランナー固定金物	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) コンクリート下地用</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) コンクリートくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸 法 <math>\phi 4.0</math> 以上<math>\times \phi 30</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>2) 発射打込みびょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 5529</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times \phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>(2) 鉄骨下地用</p> <p>1)～3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS B 1180</li> <li>・寸 法 M8 以上<math>\times \phi 25</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>2) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times \phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 900 以下</li> </ul> <p>3) 溶 接</p>
②固定ピン (断熱材固定用)	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li>・寸 法 幅 4 以上<math>\times</math>足長 19 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul>
③留付け材	<p>[1] 上張用</p> <p>[1]-1 タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.5</math> 以上<math>\times \phi 32</math> 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul> <p>[1]-2 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li>・寸 法 幅 4 以上<math>\times</math>足長 19 以上</li> <li>・間 隔 200 以下</li> </ul> <p>[2] 下張用</p> <p>タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 JIS G 3505</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3506</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 3507</li> <li style="padding-left: 20px;">JIS G 4051</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.0</math> 以上<math>\times \phi 20</math> 以上</li> <li>・間 隔 455 以下</li> </ul>

(寸法単位：mm)

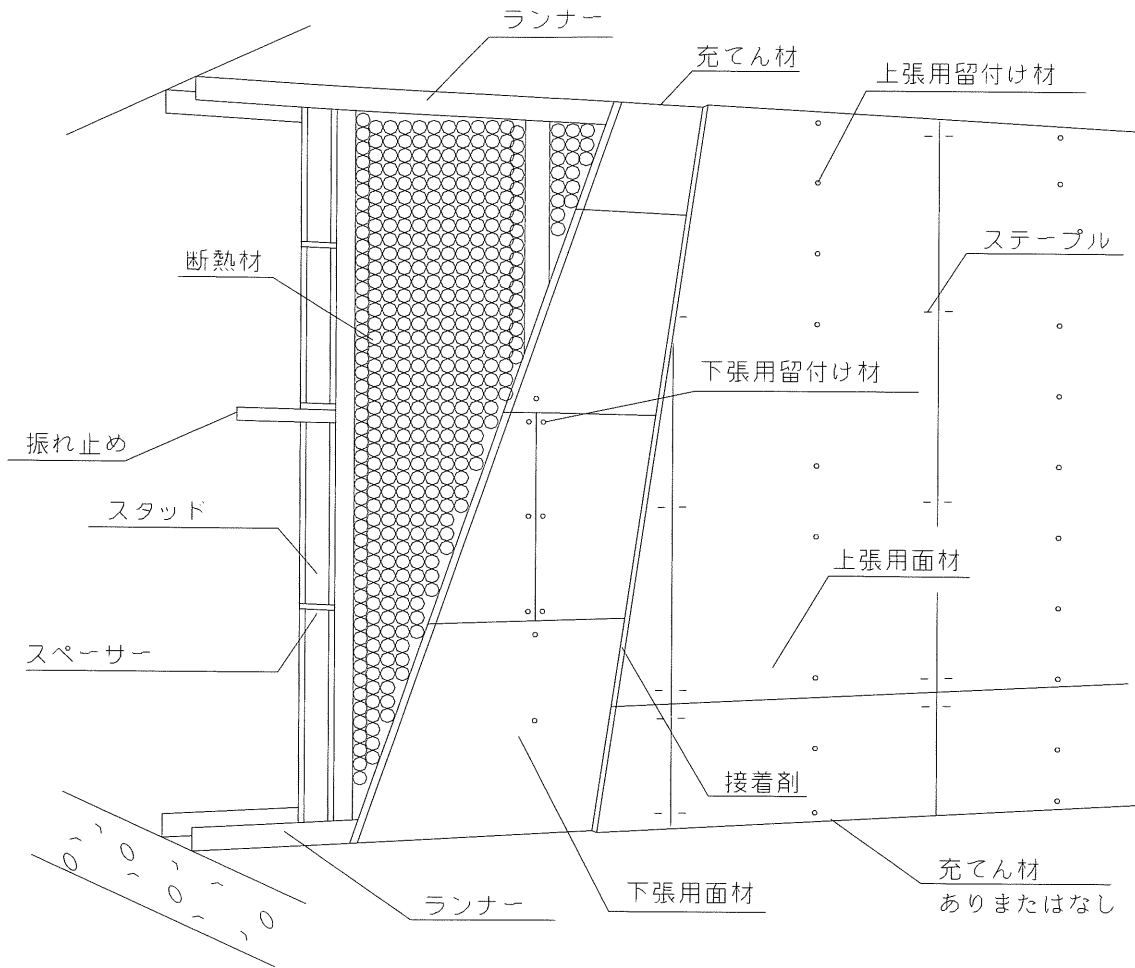
項 目	申 請 構 造
④接着剤	無機質系接着剤（炭酸カルシウム系） ・塗布量 500g/m <sup>2</sup> 以上
⑤目地処理材	[1] せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・塗布量 130g/m以上 [2] グラスファイバーテープ ・厚 さ 0.2以上 ・幅 50以上
⑥充てん材	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様もしくは組合せとする (1) せっこうボード用目地処理材（せっこう系、炭酸カルシウム系） ・規 格 JIS A 6914 ・使用量 230g/m以上 (2) ロックウール ・規 格 JIS A 6301、9504 ・密 度 32 kg/m <sup>3</sup> 以上 (3) ロックウール・ガラス繊維混紡フェルト ・密 度 150 kg/m <sup>3</sup> (4) シーリング材 ・材 質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) シリコン系樹脂 2) ウレタン系樹脂 3) 変成シリコン系樹脂 ・使用量 230g/m以下 (5) なし（下部の取合い部分に限る）

4. 構造説明図

(寸法単位:mm)

(1) -1 断熱材を充てんする場合 (C型スタッド)

・透視図

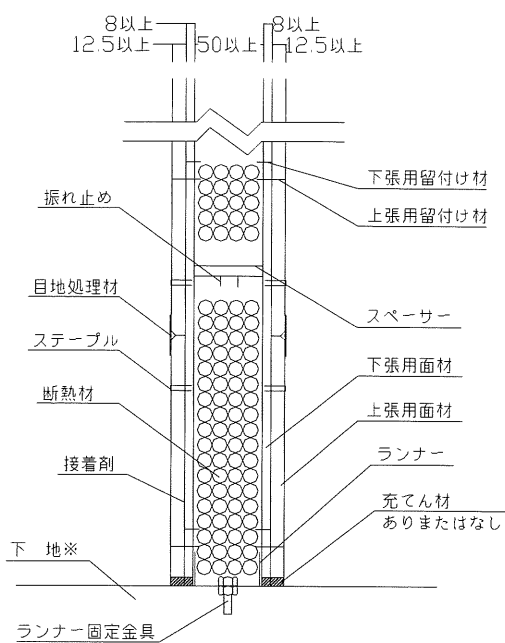
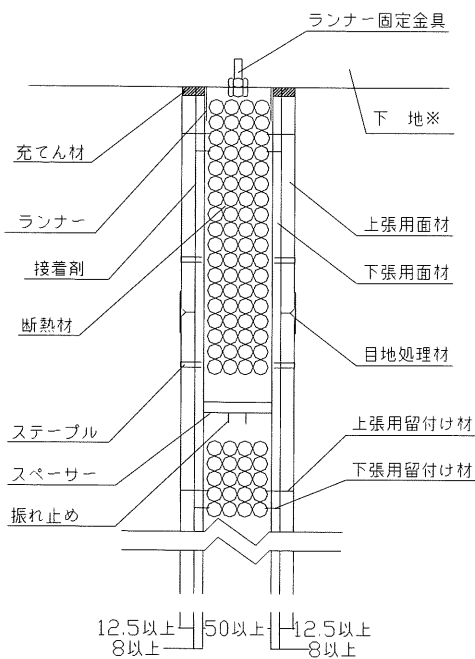


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

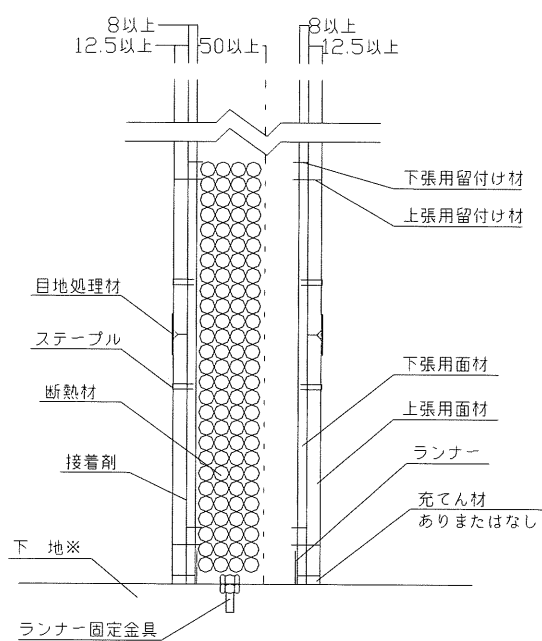
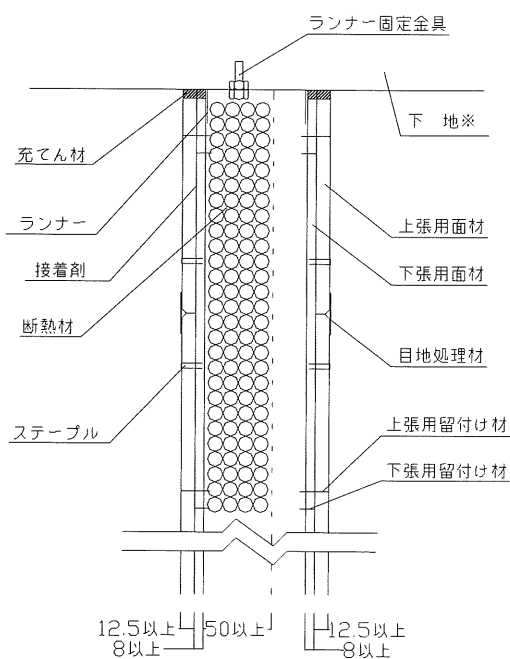
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

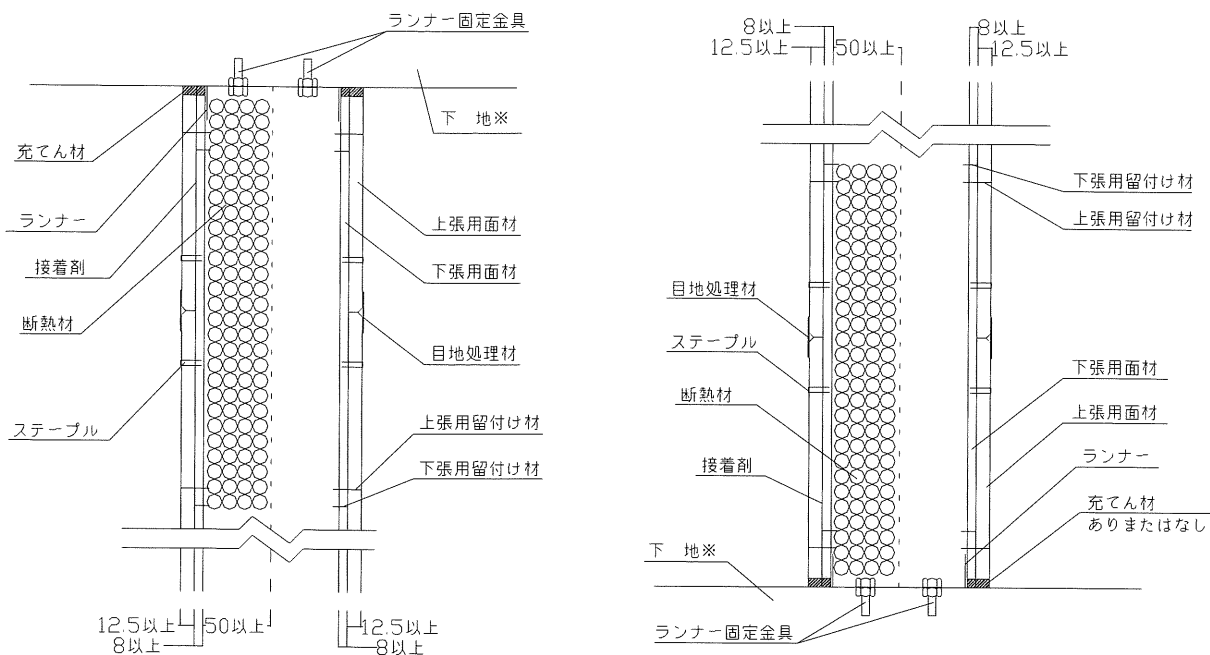


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

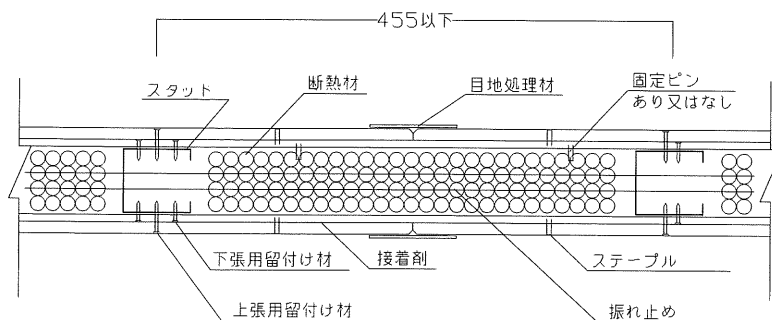
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

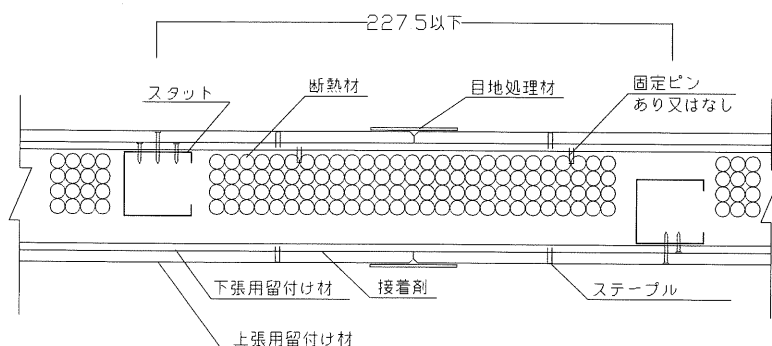
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断面詳細図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

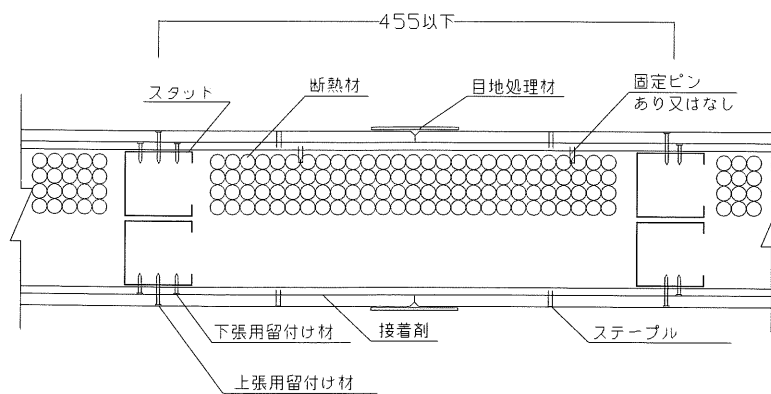


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



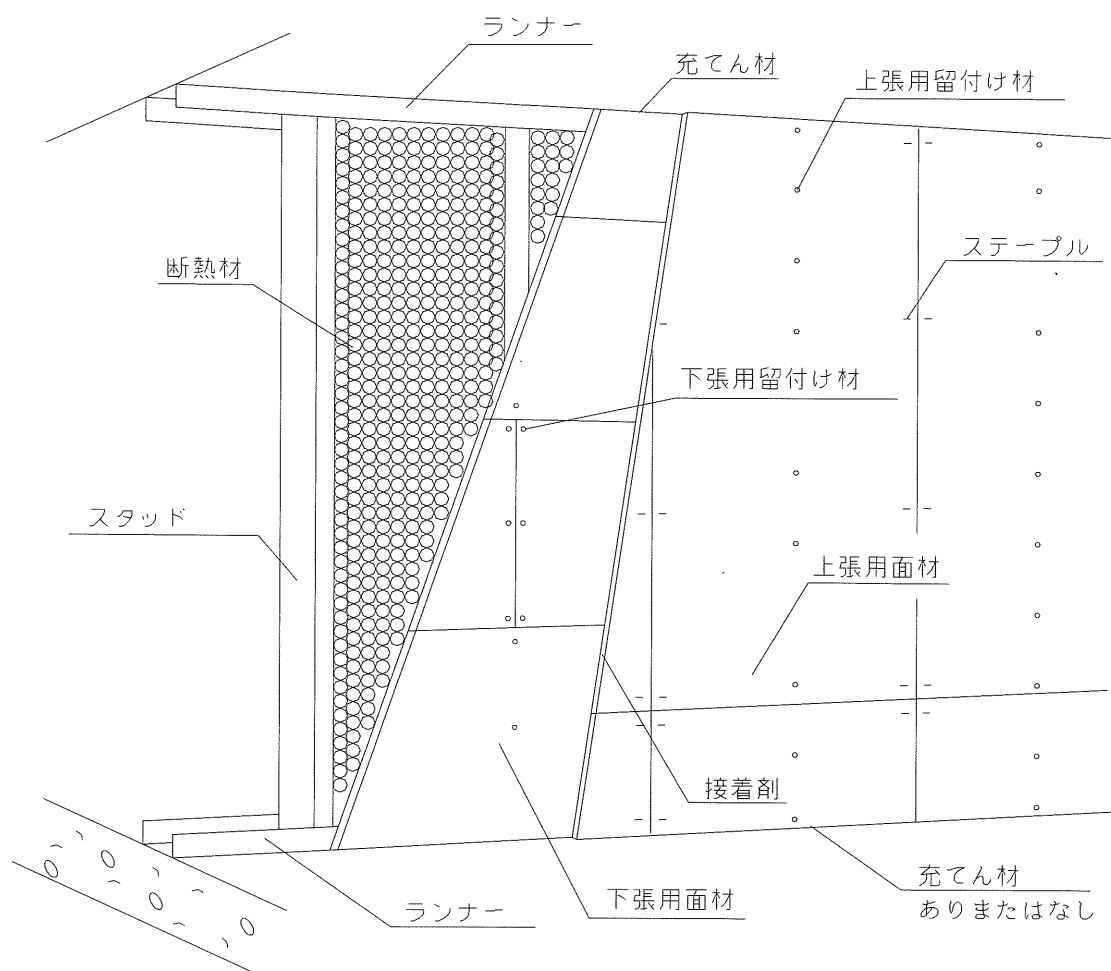
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

(1) -1 断熱材を充填する場合 (□型スタッド)

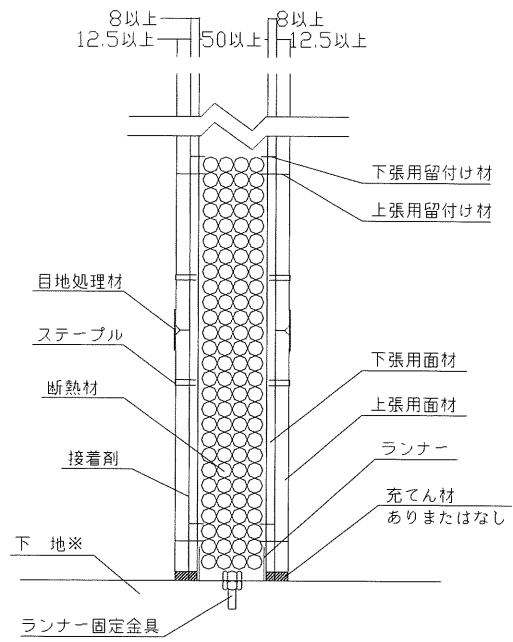
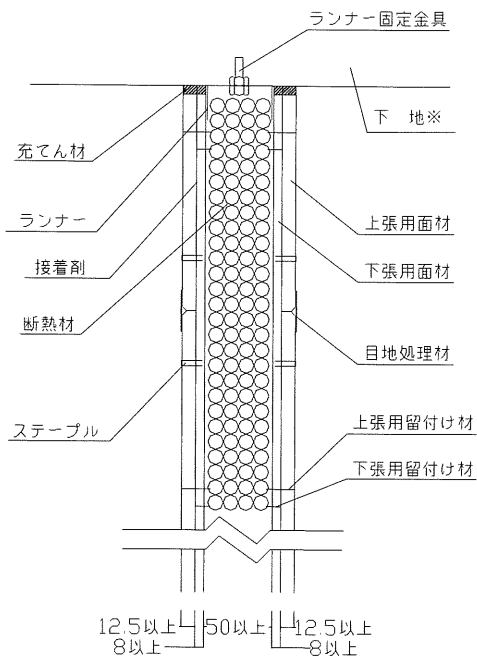
・透視図



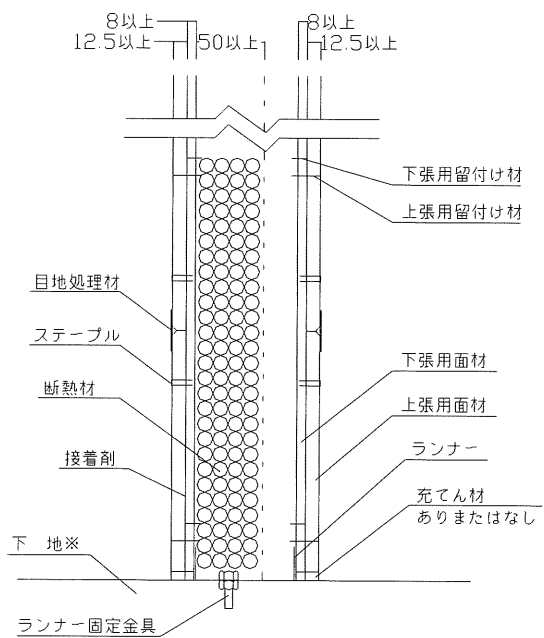
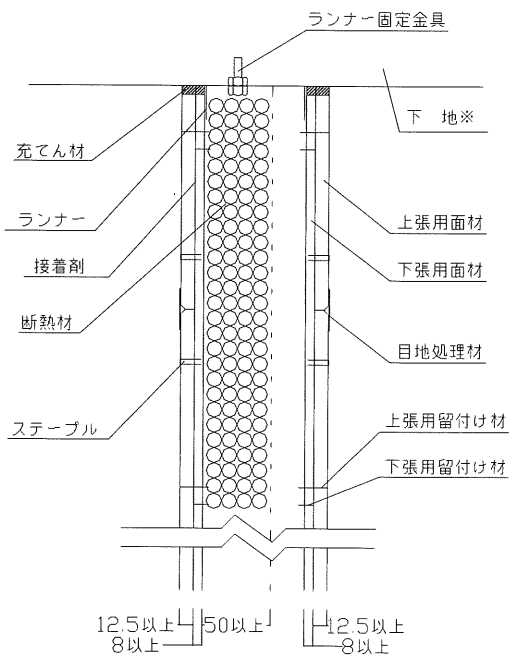
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

・垂直断面詳細図 (共通間柱構造)



・垂直断面詳細図 (千鳥間柱構造)

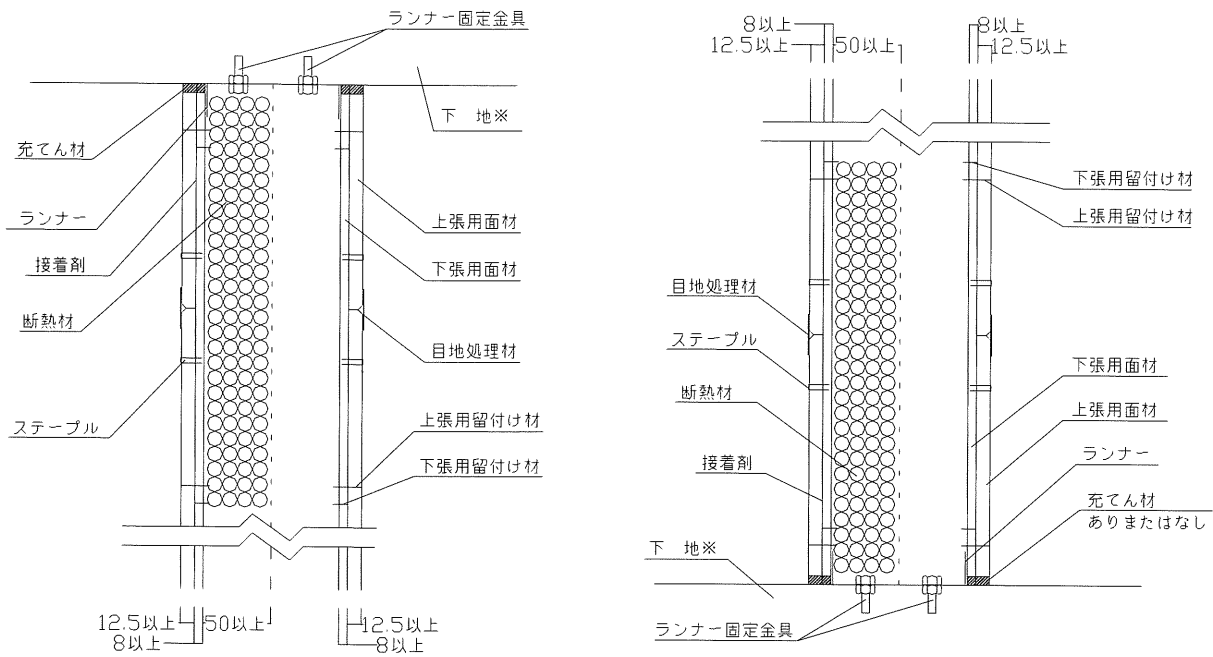


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

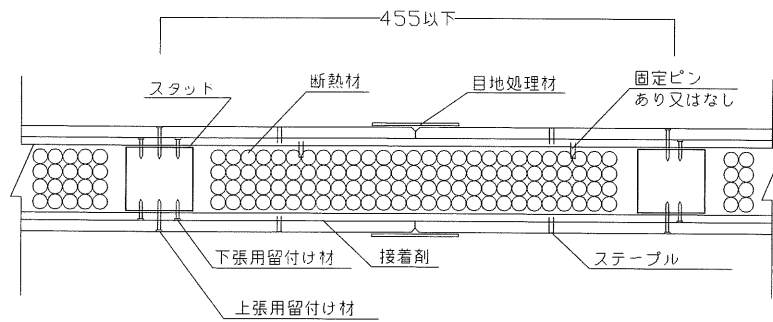
※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

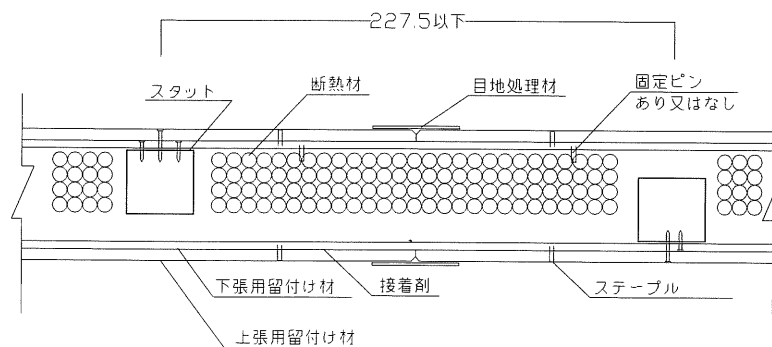
・垂直断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



・水平断詳細面図 (共通間柱構造)



・水平断面詳細図 (千鳥間柱構造)

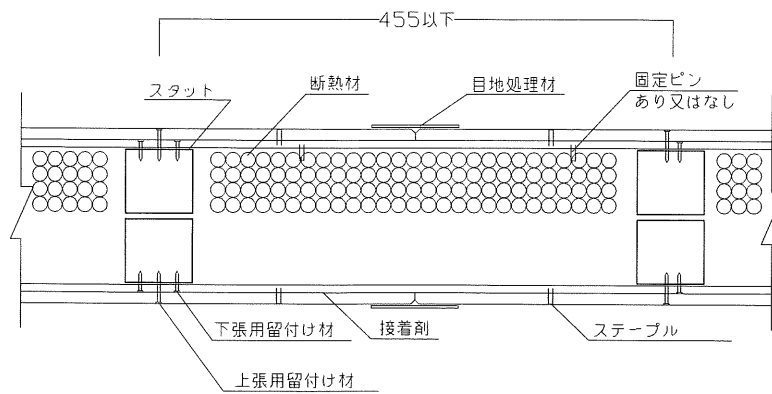


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

・水平断面詳細図 (ダブルスタッド構造)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

## 5. 施工方法

### 〈施工図〉

#### 4. 構造説明図と同じ

### 〈施工手順〉

#### ① 墨出し及び上下ランナーの取付け

間仕切壁の設置位置に墨出しを行い、上下ランナーをランナー固定金物にてピッチ900mm以下で取付ける。

#### ② 間柱（スタッド）の取付け

固定した上下ランナーに455mm以下のピッチで取付ける。

ランナーとスタッドのクリアランスは10mm程度とする。

#### ③ 下張用面材の取付け

横張を標準とし、タッピンねじで、スタッドに取付ける。

製品の端部より15mm以上離れた位置に、ピッチ455mm以下で留めつける。

#### ④ 上張用面材の取付け

縦張を標準とし、下張用面材の目地と目地を227.5mm以上ずらして、

接着剤・タッピンねじ・ステープルの併用で取付ける。

スタッドのある部分は、タッピンねじを使用し、ピッチ455mm以下で留めつける。

スタッドのかからない部分は、ステープルにてピッチ200mm以下で留めつける。

#### ⑤ 断熱材（断熱材を使用する場合）

断熱材を使用する場合はグラスウール、若しくはロックウールを壁内部に充てんする。

#### ⑥ 目地部及び取り合い部の処理

目地部には、グラスファイバーテープを張り、せっこうボード用目地処理剤で平滑に仕上げる。

上張用面材とコーナー部等の取り合い部分は隙間のないように充てん材にて充てんする。

#### ⑦ 表面仕上げ

防火上支障のない材料で仕上げる。